

公益財団法人 日本財団 御中

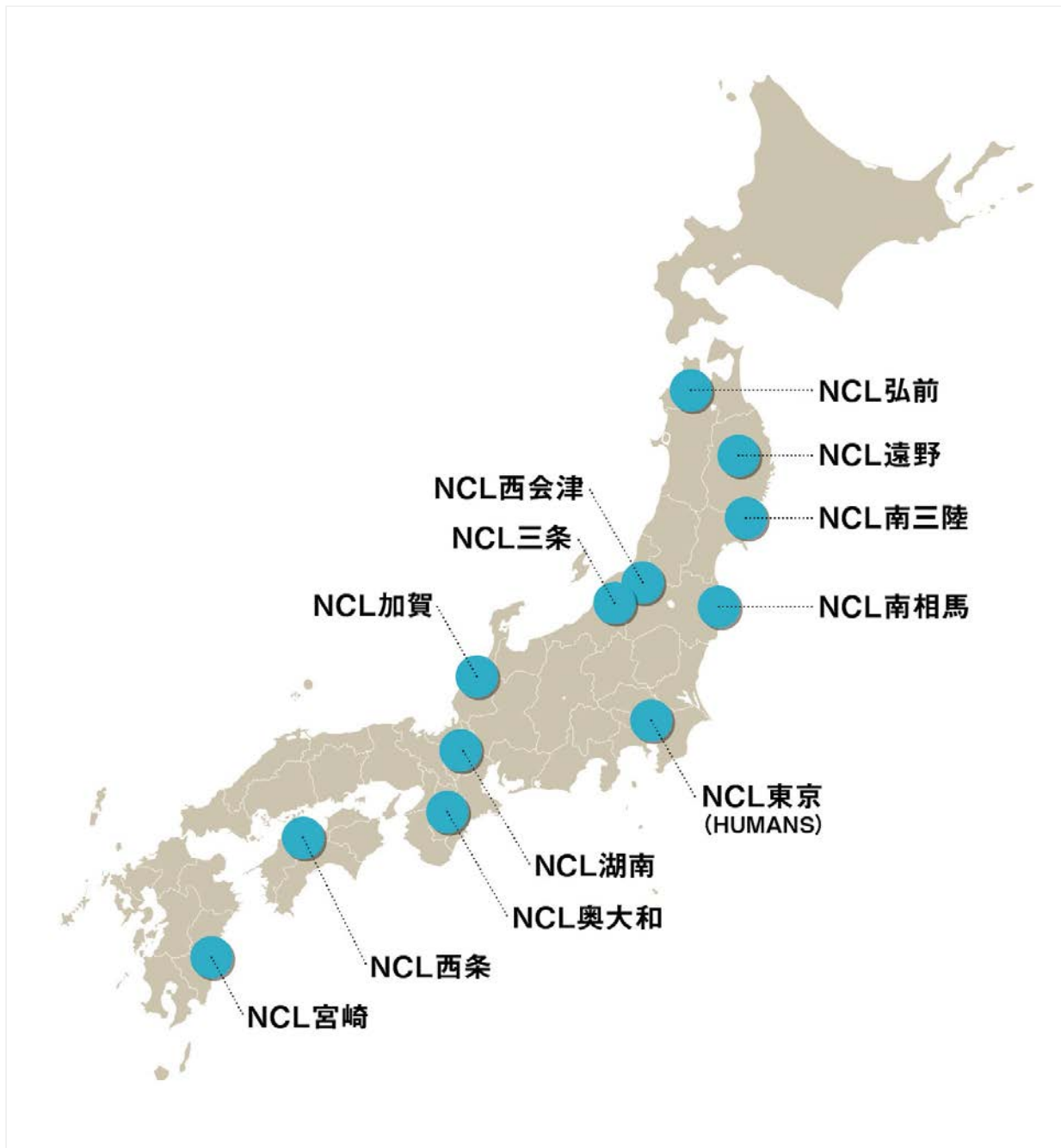
一般社団法人 Next Commons Lab
2019年度 活動報告書



2020.03.31

はじめに

Next Commons Lab（以下NCL）は、**都市一極集中の旧来の社会とは異なる、新しい社会構造・社会像（働き方・暮らし方）を実現**するために、2015年岩手県遠野市で活動を開始。『ポスト資本主義を具現化する』というスローガンのもと、2016年11月、代表林篤志が日本財団ソーシャルイノベーターに選出。2017年2月、一般社団法人Next Commons Labを設立し、活動拠点を全国12カ所に増やしている。また、ローカルベンチャー育成の実績から生まれた企業とのコラボレーション事業もはじまっており、NCLの理念に共感した自治体・企業と共に社会づくりを進めている。※2020年3月31日現在



NCLでは、各拠点ごとに独自のコンセプトを設定し、その価値観に共感した起業家や企業を中心にコミュニティを醸成している。コンセプト設定のために現地のリサーチを5回～7回ほど行い、歴史や風土をはじめ、行政や地域のプレーヤー、企業の方々や地元の方などにヒアリングした上で原案をまとめ行政に提案、首長に最終決定を仰いでいる。



〈NCL遠野〉

『本当の資本とは、貨幣ではなく人間の創造力である』“Next Commons Lab”は、さまざまな領域で活動するメンバーが集まり、プロジェクトを通じて地域社会と交わりながら、ポスト資本主義社会を具現化する議論と実行の場です。今を生きる私たちが、理想とする未来を思い描き、自ら考え、手足を動かし、社会そのものを変えていく。自由な精神と、良質なカオスの中で未来づくりがはじまります。さあ、あなたの創造力を社会に実装する時です。



〈NCL奥大和〉

生命を支え、暮らしをつくる食。その根源的な可能性を探求し、未来の食のスタンダード＝フードcommonsをつくるプロジェクト。山里の資源、古来から伝わる技術、最先端のテクノロジー。あらゆる叡智を融合し、私たちのフードcommonsを具現化します。



〈NCL加賀〉

ローカルからローカルへ、境界を飛び越えることを恐れない越境者と、その地に根を下ろし営みを続ける人々が交錯し、熱を帯びた摩擦から新たなアイデアは生まれます。国境なき社会を生きる時代。国を越え、地域間で連動し、新たな文化経済圏モデルをつくる。アジアに開かれたローカル・ハブが誕生します。



〈NCL南三陸〉

限りある資源、この地で命を継ぐものすべてを、余すことなく循環させることで、地域の自給力と持続性を養い、たとえ災害などの危機にあっても、高い回復力を発揮することができる。このレジリエンスを高める循環モデルこそが、しなやかで強い地域をつくり、人間と自然との調和のとれた真に持続可能な社会インフラとして、これからの世界を変えていく。人類が地球で生き続けるための小さな循環モデルを、南三陸から創り出そう。



〈NCL弘前〉

キャンパスは、学びと実験を繰り返す探求の場である。多様な人が集い、知識や経験、技術を持ち寄り、成長する場所、自己実現の場所、革新が起こる場所としてあらゆる場所がキャンパスになる。暮しと仕事の実践の中から、世代や立場を越えて学び合い、あたらしい価値とまちの未来を創造する。



〈NCL南相馬〉

今、わたしたちは予測不能な未来に向かって生きている。だからこそ、先の見えない不安よりも、限らない可能性を楽しみ、想像力と実践をもって、望ましい未来をつかっていきたい。だれもがアイデアをカタチにし、挑戦できる場をつくる。ひとつひとつの行動が次世代へと続き、新たな社会への道筋となっていく。この予測不能な未来を楽しもう。自分たちの手で未来を発明しよう。



〈NCL湖南〉

世界は広く、あなたの想像を遥かに超え、広がっている。たくさんの人と出会い、異なる文化に触れ、この世界の広さを感じ、学び知ることで、自らの限界は容易に押し広げることができる。ここは多種多様な人々による、あらゆる挑戦の場となり、どんな立場や境遇にあっても、アイデアをカタチにするチャンスがある。自由な挑戦は、この街の経済や人の流れを少しずつ変化させ、やがてあなたの住む世界そのものが拡張し、新たな社会の実現に一歩近づくことができるだろう。



〈NCL西条〉

目まぐるしく変化する経済、地球規模で起きる環境変動、来るべき人工知能社会の中で、わたしたちはいかに人間らしく生きられるだろうか。穏やかな気候と豊富な水に支えられた豊かな自然。地域が育てた二次産業。この恵まれた環境にもつぎの展開が求められている。これまで当たり前を受け継がれてきた生活文化や暮らしの中から資源を掘り起こし、地域一帯の創造力を底上げしよう。やみくもに合理性を追求するのではなく、ワクワクすること、熱中して何かに取り組む人間ならではのエネルギーを資本として、個の生業やスモールビジネスを生み出し、独自の産業へと成長させよう。人間らしく生きることが街の未来をつくる源泉になる。

NCLは活動を通じて、『金銭的制約の解消』、『環境的制約の解消』、『情報の浸透』、3つの課題を解決するために以下の取り組みをはじめている。



〈NCL宮崎〉

大量生産・大量消費時代を経て私たち人間は、地球資源の適正スケールを考えて行動しなければいけない時代に立っています。大きければ大きいほど良いという考えを捨て去り、人間らしいスケールで、美しい世界を創造していきましょう。小さくても、無謀でも、あらゆるチャレンジを応援する文化と環境があれば、人間らしい世界を取り戻し、地域はより豊かな場所へと変わってゆくはずです。南国宮崎の小さなまちを舞台に、食・農・テクノロジーを核としたビジネスを集積させ、小さくて強い経済圏をつくっていきます。リスクがリスクでなくなるインフラと挑戦の連鎖が生まれる生態系を育み、すべての人が挑戦しながら生きていける社会がここにあります。



〈NCL西会津〉

永い時を経て今ここにある、わたしたちの暮らし、それを取り巻く世界。故いものは創造の源であり、新しいものと等しく、価値がある。経験の中で培われた知恵や技術、経年の中でしか現れない質感や表情、すべて、有形無形を問わず、古から現代にもたらされたいくつもの資源だ。よく吟味し、学び、組み合わせ、手を加えるか、あるいはそっとしておいてもいい。その場所に残されたもの、すでにあるものを殺さずに活かし、現代（いま）をアップデートし続けること。その態度と賢明さを手に入れよう。温故知新な日々を、故くて新しい未来を、身近な暮らしの実践からはじめよう。



〈NCL三条〉

「つくり手」たちが活躍する、ものづくりのまちではいま、個性豊かな事業にチャレンジする若者たちが、地域の担い手として、様々な活動もはじめている。そんな動きに目をこらし、丁寧に集め、つなぎ合わせてみよう。「つなぎ手」として、新しい視点でまちを編集してみると、これまでの文脈からは生まれなかった、まちの未来が現れるだろう。

①金銭的制約を解消する

NCLが設置された地域の経済活動を活性化し、
所得の確保を容易にするための取り組み

最低所得保証付き起業家誘致・養成プログラム「ローカルベンチャースクール」の実施

・展開地域について

2015年に岩手県・遠野市（NCL遠野）から活動を開始したNCLは、2016年に奈良県・奈良県宇陀市（NCL奥大和）、石川県・加賀市（NCL加賀）、宮城県・南三陸町（NCL南三陸）に拠点を整備。さらに2017年は、青森県・弘前市（NCL弘前）、福島県・南相馬市（NCL南相馬）、滋賀県・湖南市（NCL湖南）、愛媛県（NCL西条）、宮崎県（NCL宮崎）での拠点を整備。2018年の2月には東京都・渋谷区に全国の拠点を結びつけるハブ拠点であるHUMANS(NCL東京)を開設した。また福島県西会津市は立ち上げを行いコーディネーター3名が着任。新潟県三条市では2名のコーディネーターが参画し、本屋プロジェクトを進めている。

その他、日本各地の地方自治体やまちづくり会社などからの問い合わせも多数あり、新規の導入を検討している。

・各地域の進捗状況

自治体導入数：11

- (1)岩手県・遠野市
- (2)奈良県
- (3)奈良県・宇陀市
- (4)石川県・加賀市
- (5)宮城県・南三陸町
- (6)青森県・弘前市
- (7)福島県・南相馬市

- (8)滋賀県・湖南市
- (9)愛媛県・西条市
- (10)宮崎県・新富町
- (11)福島県・西会津町
- (12)新潟県・三条市

NCLに参画した企業パートナー数：10

- ①キリンビール株式会社（NCL遠野）
- ②ロート製薬株式会社（NCL遠野/NCL奥大和事務局）
- ③株式会社NTTドコモ（NCL南三陸）
- ④株式会社モンベル（NCL西条）
- ⑤アマタホールディングス株式会社（NCL本部）
- ⑥株式会社日本人材機構（NCL本部）
- ⑦東日本旅客鉄道株式会社（NCL本部/NCL南相馬）
- ⑧株式会社パーソル総合研究所（NCL本部/NCL遠野）
- ⑨大和ハウス工業株式会社（NCL本部）*協業に向けて協議中
- ⑩三ツ輪産業株式会社（NCL本部）

NCL導入による設置自治体内への移住者増加数：114

- NCL遠野_事務局3名+ラボメンバー11名
- NCL奥大和_事務局3名+ラボメンバー11名
- NCL加賀_事務局5(2名スタッフを当社から派遣)名+ラボメンバー11名
- NCL南三陸_事務局2名+ラボメンバー9名
- NCL弘前_事務局3名+ラボメンバー7名
- NCL南相馬_事務局3名+ラボメンバー7名
- NCL湖南_事務局3名+ラボメンバー8名
- NCL西条_事務局2名+ラボメンバー11名
- NCL宮崎_事務局3名+ラボメンバー7名
- NCL西会津_事務局3名
- NCL三条_事務局2名

事業化が可能と思われる当該地域の資源の可視化・マッチング

・プロジェクトの進捗/成果

地域	プロジェクト名	ステータス
遠野	ビールとホップ	2018年5月に遠野醸造TAPROOMを開業。経営は順調で、2019年度から1名正社員を雇用予定。地域産品を使ったコラボビールなども生み出している。起業した遠野醸造のビール醸造、店舗運営、レシピ開発などを行う。醸造ノウハウの蓄積、レクチャーなども。
	発酵	どぶろく職人は研修継続中。技術習得を重ねながら、研修先の広報担当も担うなど活動の幅を広げている。研修先に就職という形で引き続き米作り、どぶろく仕込み、どぶ酢づくりに励む。
	低コスト住宅	モバイルハウス、低コストリフォームなどのモデルを実施。2018年度後期よりバンハウスや低コスト住宅開発などに取り組む。バンに乗せるバンハウス「バンパコ」、家の中に置く「巣PACO」を製作。
	ローカルフード	2018年秋に活動を終了。出張料理人として拠点を西日本に移しながら全国各地で活動予定。
	限界集落	2018年度をもって活動を終了。市内文化財団に就職し、これまで活動の中でおこなってきた文化の継承や芸術文化と伝統のコラボレーション企画などを考えていく。 遠野市教育文化振興財団に就職。文化の継承やアーカイブを希望して

		いたこともあり、就職したことで安定的に関わっている。
	地域の可視化	2018年夏をもって活動終了。NCL遠野からCommonsへと活動の軸を移し、マイクロワーク事業の中心メンバーとして関わる。
	産後ケア	2017年度いっぱいまで活動を終了。
	ローカルプロダクション	文化プロジェクトto knowの代表になり、より地域に密着したプロデューサーとしての位置を確立しつつある。ビールプロジェクトに次ぐリーディングプロジェクトとして成長中。ローカルプロデューサーとして、遠野、盛岡、仙台、長岡に仕事の幅を広げつつも遠野を中心に活動。
	デザイン	市民と共働して出版、銘菓復活事業に携わるなど、デザイナーとしての役割を超えて複数の案件で活躍中。個人事業主で生計を立てつつ、遠野のようかん復活プロジェクトに引き続き携わり、遠野に定期的に通う生活にシフト中。
奥大和	ハーバルビール	通販開始、タップルームを宇陀市内にオープン。イベント出店を軸に拡大し、自分自身の醸造免許取得はまだ未完了。泊まれるブルワリーとして隣の空き家を民泊施設に変えていく計画、また今後は会社化して展開していく予定。
	農家民宿	物件がきまり、本格的には6月頃に契約を結ぶ。自身でもクラフトブランドamuguを立ち上げ、てしごとを行う側としても活動予定。
	パン屋	8月31日に店をオープン。週3日の営業を実施している。パンの部分はグルテンフリーのパンの味の改良を行っていたり、リースの機材を探している。今後受注生産も行っていきたいとのこと。
	グリーンツーリズム	パートナーや自治体との組み方を変えて、ルートからの直接業務委託となる。単発での研修等を開催しながらプログラムの開発にあたっている。ウェブサイト改変中。積極的に地元の方や葉草・発酵に関する方と積極的にアポイントを取り、個人の事業の種まきを着々と進めている。またガイド養成、通訳の資格取得等着実に進んでいるものの、宇陀を拠点では考えていない。
	野菜ジェラート	イタリア研修留学に自費参加。宇陀市内の物件を改装し夏にオープン予定。設計図は完成し、ブランドデザインや設備調達などを行っている。(宇陀市の承認のもと野菜ベビーフードから変更) 2019年8月1日に宇陀にジェラート屋をオープン。売上は夏の間は良かったものの、10月になり落ち込みが顕著ではある。しかし近隣農家からコラボの話もいただいたりと地域に認知されつつある
	養蜂	自主ブランドの製品プロデュースのリリースを8月に設定し、オウンドメディアの準備と取材活動を進めている。養蜂家のストーリーでパッケージした商品になる予定。平行して心齋橋の養蜂メーカーでのアルバイトも継続。今年は師匠の元での師弟関係は解消。販売に向けてやマーケティングの方に重きを置く。
	馬と生きる	馬が二頭リースで奥大和に。簡易馬場を事務局隣の旧保育所敷地に設置。調教とともに広報活動を進めメディアにも露出。開業し、馬小屋Abiiとして活動開始。地域のイベントや、隣町の馬藩のイベント等に顔を出し
	ビール2	シェアブルワリーによるビール起業。シェアハウスに住みながら地域資源のリサーチ中。ルートのビール担当者にも教わっている。
	野菜アップサイクル	発酵食品を軸に廃棄野菜等のアップサイクルで起業。ワークショップをしながら地域資源リサーチ中。

	地域デザイン	NCL卒業、仕事としてビールPのブランディングも継続中。東吉野にあるOFFICE CAMP東吉野にジョイン。
	ジビエ猟師	狩猟免許を取得し、独り立ち。猟期外の収入源としてゲストハウス、皮革製品のグッズ化に取り組んでいる。
	伝統野菜	店舗でインターン終了。物件探しと平行して開業に向けた事業計画の最適化を図っている。
南三陸	風土料理レストラン	鶴岡のアルケッチャーノでの短期インターンを終え、2018年2月からイタリア食科学大学に留学、2019年3月に帰国して南三陸町で活動開始。シェフインレジデンス実施。今後は事業化へ向け活動中。
	サスティナビリティセンター	従来のセンターの事業に自分の得意分野である野生生物事業を加え、パートナーと共に事業を構想中。南三陸町の循環型社会を構築するためラムサール基金や企業のSDGs診断等のコンテンツを開発整備中。
	めぐる地域エネルギー	パートナーと共にNEDO助成金等申請し、ペレット工場建設へ向けて活動中。地元パートナー、トーマツと連携してペレット工場建設へ向け進んでいる。
	里の循環型ファーム	現在パートナーらの協力を得て耕作放棄地を開墾するとともに作物選定中。食育事業準備中。
	モジュールハウス①	2019年9月にプロトタイプが完成。信頼資本財団からの融資も決まり、今後本格的に販売・賃貸といったフェーズに入る。
	モジュールハウス②	オフグリッドハウスを使ったグランピング施設の運営を南三陸町観光協会とともに行うことを計画中。試作のため補助金申請、資金調達を行っている。
	自由提案枠	スポーツと食による南三陸町中心市街地活性化を行う。隈研吾事務所のトレーラーハウスは宮城県条例の関係で利用不可となった。地元企業からプレハブと厨房設備一式を譲り受け、土地の賃借契約完了。トレーラーハウスを購入し、融資に向け金融機関と調整中。
	ワイナリー（経営）	株式会社南三陸ワイナリーを設立。委託醸造で造ったデラウェア2018が日本ワインコンクールで奨励賞を受賞。2020年夏南三陸町内でワイナリー稼働予定。
	ワイナリー（醸造）	仙台の秋保ワイナリーで修行中。醸造設備を借りて醸造した白ワインは好評であり、今年度品評会に出品。今年度は秋保で醸造経験を積みながら山梨大学での講座を受講予定。
加賀	未来の福祉	女性向けシェアハウスの運営に向けて準備中。
	温泉 commons	2017年10月着任。パートナーの期待に応えられず関係解消。その後は地域で色々模索するも、家にこもりがちになり、本人の申し出により2018年12月脱隊。
	Gifted Academy	福祉の認可が降りなかったことで大きく方向転換。人口流出問題解決も兼ねた高校生向けカリキュラム教室（例えばプログラミングなど）を開く。その前段階として、地元学習塾の協力のもとワークショップを開催予定。
	茶産地振興	2017年10月着任。パートナーの茶農家組合が販売するプロダクトのデザインを一新。自らのブランド「茶図」を立ち上げる。近隣県での取り扱い店舗を順調に増やしている。茶葉や加工品の販売、プロモーション活動を続ける。SDGsカフェを月1開催。

	スローツーリズム	食のワークショップ、社会起業的なテーマの映写会などを、月1回程度開いている。石川県でのゲストハウス事業の準備中。
	北前船	2017年12月着任。地元工芸品をコンセプトにしたオリジナルプロダクト「ARABIKI」をフックに、イベント出店や企画を進めている。漆器×植物（ARABIKI）他、新しい商品の開発・リリース、月一回コドンで販売会を開く。
	越境カフェ	2018年2月着任。方向性の違いからパートナーとは早期に関係解消。その後、地域トラブルが多発し、2019年3月脱隊。
	HUB台湾	2018年1月着任。台湾と日本をつなぐコミュニティ形成が目標。トライアルで、現地ツアーや、トークイベントを実施。地域おこし文脈で、台湾と加賀をつなぎたいと思っている。最近では、台湾の大学教授やまちづくり興味がある行政の方を加賀に誘致し、そのアテンドをしている。
	自由（松澤）	2018年4月着任。ローカルメディアを立ち上げ。将来的にはECサイトまでの展開を目指すものの、ライターの教育に苦戦中。
	自由（木村）	2018年3月着任。地元の人をうまく巻き込みながら、過去の映像のアーカイブや、上映会を自主企画。地元イベントの記録担当として声をかけられることもしばしば。文化事業でマネタイズは難しく、補助金申請等を進めている。
弘前	WINE INDUSTRY ワイン	弘前のパートナーの畑でブドウ栽培ワイン醸造の技術習得中。来年から自分のワインづくりと、ワインスクール開設に向けて準備中。
	HIROSAKI ORIGINAL PROJECT 自由	プロジェクトパートナーとアート関連のイベントを開催。NCL弘前の拠点について、アドバイザーとしても関与している。
	LOCAL INTERNSHIP & SCOOILING 教育	やりたいけどやれない、踏み出せないという若者と一緒にプロジェクトを作り、その実践のサポートをしている。先日そういった人を集めての交流会を実施して30名以上集客。
	APPLE PROJECT りんご	関係者も多く、既に成り立っている産業の中でのPJ。生産・流通・加工と範囲が広いので、仲間づくりと優先順位の順位付けが必要。
	Artist in Guesthouse	12月着任。来年7月のゲストハウスオープンに向けて動いていく。場所は拠点の2階部分。
	Artist in Guesthouse	夫婦でゲストハウスの運営と、拠点の1階奥を使ってアーティストを呼び、滞在制作する場を併せて運営していく。
	APPLE PROJECT りんご	12月着任。ゆくゆくはシードルを楽しめる場づくりをしていきたい。本人はドイツ人、パートナーは日本人なので、農家として以外のりんごとの関わり方のモデルになったら面白い。
湖南	LOCAL TRADING 地域商社（編集者）	2018年11月に着任。 地域の藍染職人の仕事に惚れて、ぜひ、発信したいと着任。職人だけでなく、「昔は地域に愛されていた食堂を切り盛りしていたが、今は地域のおばちゃん。だけど、その持っている情報は素晴らしく、埋もれているのはもったいない」という地域のおばちゃんにもインタビューし、記事にすべく地域を駆け巡っている。

	COMMUNITY WORKSHOP 未来志向公民館	2018年12月に着任。 大阪万博で何らかの成果を報告できるように積極的にコミュニティを作っている。 地域の大学などに人脈も広げ、地域のブラジル人コミュニティとも協業で、食でつながる場づくりもはじめている。
	KONAN ORIGINAL PROJECT 自由提案（アートに触れる宿）	2018年10月に着任。夫婦で借りた物件の上階で「民泊でのアートと宿」を予定している。物件はほぼ決まった。クラウドファンディングを実施し資金調達。
	Community Workshop	大きな目標は万博での発表。 社会課題の解決に興味が大きいが、利益を生み出すのが難しい感じ。 プロダクト開発、会員制のコミュニティづくり等、まだ種まきの意味合いが大きい。
	Bookstore&Cafe	地域をめぐるふるほんマルシェ実施。プロジェクトの運営する物件も決まった。 地域とつながりながら、うまくプロジェクトを形にしている。ただ、どこでどれだけ利益を生まないと継続は難しいか？といったところの判断をしていかないと、しんどいかも。
	タピオカ研究所	タピオカに吸引力があるので、単発のイベントでは、好評。市内でキャッサバ栽培しているブラジル人ともつながった。タピオカドリンクだけでなく、世界のキャッサバ料理を学び、新しい商品開発に移るフェーズ。 おみやげにできるようなプロダクトも開発できると、製造者を雇って売り上げもあげられる。
	スポーツコミュニティ	サッカーチームを作ろうとしている。eスポーツなどの大会を開催しコミュニティづくりを行う。
	自由提案（漫画）	地域の神社仏閣を漫画で分かりやすく紹介。まだまだ、事業のタネを作っているところ。
	市民食堂	間借りして食事を提供している。フードロスを取り組もうとしている。
	こにゃん市役所	猫（動物）を取り巻く環境の改善することを目指す。
南相馬	Social Business Open Laboratory（自治体×企業による公民連携の社会的事業創出ラボ）	2019年1月に着任。社会的事業創出ラボの運営と、自身の起業を同時に目指しながら活動中。ラボは、リソースを出すことに前向きな企業と、リソースを活かせそうな課題とのマッチングを進めている。自身の起業としては、高齢者ビジネスへの興味と、自分のスポーツ教育学科での学びを結び付け、健康寿命の延長をビジョンに据え活動中。
	”YATAI” Experience（過疎地域で成り立つ移動式のサービス提供）	2019年2月に着任。アロママッサージの訪問サービス（福祉文脈）と移動販売（美容文脈）の2本立てで3年後のゴールを設定。ボランティアベースでの関係づくりや社会福祉協議会への訪問、ネイリストとユニットを組んでマルシェ出店など、規模小さくでもまず始める、という方針で活動中。
	Surfers Village（サーファー専用ゲストハウス運営及びサーファーマーケットイベント運営）	2019年3月に着任。3年後ゲストハウス建設のため、クラウドファンディングを行うことを目指し、ファンづくりのため情報収集・発信にまずは注力。震災後初めての海開きに際して、今夏行イベントを推進する会合に参加し、関係者との関係づくりも始めている。

	Community Brewery (造酒プロジェクト)	2019年4月より着任。醸造修行中。
	Minamisouma Original Project (集客・売上を伸ばすサポーター・伴走者)	2019年4月より着任。Webマーケティングスキルはあるが、専門性が弱いので、地域コーディネーターとしてジェネラリストとして活動をしている。
	Horse Sharing	2019年12月着任
西条	SPORTS ACTIVITY スポーツ	夏のカヤック・SUP体験が地元客中心にスタートできた。現在、登山のフィールドリサーチ中。
	SPORTS ACTIVITY スポーツ	パーソナルツーリズム。あの人に会いに行こうをコンセプトに、場所を訪れるのではなく人に会いに行く旅行商品の企画と運営を行なっている。パートナーも増えてきて、12月からツアーもスタートする予定。
	FAN TO FARM 農業	軽トラを改造した旬と野菜のジュースのキッチンカーを計画中。少しゆっくりだが年度内オープンに向け着実に前進。
	FOOD DIRECTOR 食品	中村新氏(無印良品のレトルトカレーのプロデューサー)の下で修業中。現在2件、飲食店のコンサル案件と1件の販路開拓案件で売上あり。他にも引き合いが来ている。
	MICRO WORK マイクロワーク	プログラマーと協働しながらアプリ開発を進めている。同時に地域での運用を念頭に、市民との交流にも力を入れている。ZENアプリ(P2Pファンドレイジングのシステム)の開発段階。12月にβ版完成予定。2月にZENイベントを開催
	HUB VIETNUM VIETNUM	ベトナムの市場調査に入り、ビジネスパートナーになってくれそうな現地の日本人とベトナム人と知り合うことに成功。ベトナム(ダナン)と日本(主に西条)を結んでビジネスを展開。オフショア事業や服のオーダー事業や観光事業など幅広く事業展開。
	SAIJO ORIGINAL PROJECT 自由提案	クライマー用の靴下やハンドクリームを新規で製作中。業者との打ち合わせや、西条市民との人間関係構築に時間を使っている。クライミング用のアイテムを作るメーカー。現在は新商品開発を主に活動中。クライミング用の靴下とスポーツ用の男性用下着を開発中。商品広告媒体としてyou tubeを活用。 https://www.youtube.com/channel/UCR2EywgdBp7tTT7KUDFcbJA
	SPORTS ACTIVITY スポーツ	石鎚ふれあいの里(キャンプ場と宿運営)を活用したコミュニティ作り。大保木という限界集落を活性化させるために、学生などと連携して課題を解決していくプロジェクトも構想中。
	LOCAL PRODUCTION ローカルプロダクション	2019年5月より着任。地域の課題を地域の人と一緒に解決していくスキームを構築中。西条の水問題や商店街問題に焦点を当て、山中さんのアイデアをベースに地域の人との関わり方を模索中。

NCL遠野は2016年9月からスタートし3年が経過、各メンバーの生活に関する方針が定まりつつある。市からの評価も高く第2期の募集も要請され、次の3年間を見据え活動を深化させている。特にビールとホップのプロジェクトについては、NCL全体のリーディングプロジェクトとして、行政・企業(キリンビール)との協働により大きく進捗している。移住した起業家数名で、街中に醸造所を開設するための法人を設立、醸造免許を取得し開業にくわえ民間企業出資の現地農業生産法人の設立や、民間主導のビールによるまちづくり法人と活動の幅を広げている。

NCL奥大和は事務局主導で地域に開かれた拠点を目指しさまざまな取り組みを進めている。馬による循環型農業への試みはたびたび報道にとりあげられ、自作した馬小屋は住民とふれあう場となっている

る。NCLで採用したインキュベーションマネージャーの活躍もあり各起業家へきめ細かいサポートを続けている。またロート製菓の新たな取り組みとして社内評価も高く、奥大和という地域を活用した人材育成が企画されている。

NCL加賀は市内に3カ所に拠点を増し、日本版CCRC構想（生涯活躍のまち）の実証実験を進めている。導入プロセスにおいて高齢者や障がい者にどうなじませるか、既存のコミュニティとのスムーズな連携などのノウハウを積み上げている。将来的には電子地域通貨へ発展する可能性も踏まえ各起業家と連携を図る予定である。

エリアリノベーションの視点を取り入れ起業家群全体をエンパワメントする試みや、心理療法士による全国をカバーするオンラインカウンセリングを毎月開催するなど、これまでの広がりがあるからこそ得た現場の経験をもとに活動志向から成果志向へ前進しようとしている。

NCL導入による設置自治体内への新規事業創出数：98

Webプラットフォーム上に可視化された事業化に繋がるリソース・プロジェクト掲載数：58

各地域で現地のリソースを調査し、事業へとつながる可能性のある資源をプロジェクト化し起業家とのマッチングを行った。ウェブサイトには各プロジェクトの背景、目指す未来、ロードマップ、プロジェクトパートナーの紹介などを掲載、さらに必要に応じて各プロジェクトに関する取材記事をアップした。

以下に挙げるプロジェクトのほか、各地域でそれぞれ自由提案の枠を設け、起業家自身が発案するプロジェクトの採用も合わせて実施している。

NCL遠野：9プロジェクト

- ・ビールとホップ
- ・発酵
- ・低コスト住宅
- ・ローカルフード
- ・限界集落
- ・地域の可視化
- ・産後ケア
- ・ローカルプロダクション
- ・デザイン

NCL奥大和：15プロジェクト

- ・オーガニックベビーフードがスタンダードになる
- ・地産素材であたらしいビールの産地へ
- ・ミツバチを中心に循環する自然資本とビジネス
- ・食農に特化したグリーンツーリズム
- ・奥大和クリエイティブビレッジ
- ・伝統野菜で未来へ繋ぐ、本来の食と農
- ・農村料理で繋ぐフードコミュニティ
- ・きのこ事業を継承する
- ・狩猟と熟成で森を食べる
- ・野菜のアップサイクリング
- ・会いに行く料理人／みんなの食卓
- ・やさしいパン
- ・ビールが醸す産業と文化
- ・里山の暮らしをつなぐ宿
- ・自然とともに学び育つ、里山ようちえん

NCL加賀：9プロジェクト

- ・越境するカフェ
- ・HUB台湾

- ・暮らしを魅せるスローツーリズム
- ・現代版北前船
- ・茶産地再興
- ・温泉コモンズ
- ・未来の福祉
- ・GIFTED ACADEMY
- ・自由提案

NCL南三陸：9プロジェクト

- ・サステナビリティセンター
- ・オーガニック3.0
- ・山からつくるまちのプラットフォーム
- ・サスティナブルワイナリー
- ・巡る風土料理レストラン
- ・世界と繋がるツーリズム
- ・めぐる地域エネルギー
- ・里の循環型ファーム
- ・自由提案

NCL弘前：7プロジェクト

- ・りんごの未来への小さな一歩
- ・地域に根ざしたワイン産業の創造
- ・八百屋2.0 野菜のスペシャリスト
- ・アーティストとともに学び気づく
- ・地域のすべてが学びになる
- ・学生のまちのあたらしいインフラ
- ・自由提案

NCL南相馬：9プロジェクト

- ・南相馬に寄せるグッドウェーブ
- ・ソーシャルビジネスを形にする開かれたラボ
- ・モバイル店舗で生まれる賑わい
- ・地元のお酒で未来を語り合う
- ・千年続く馬事文化のあたらしい可能性
- ・地域発アートコミュニティ拠点
- ・空き地・空き家をゼロ空間から特別な場所へ
- ・ロボットでアップデートする暮らし2.0
- ・自由提案

NCL湖南：9プロジェクト

- ・地域の資源を掘り起こす総合商社
- ・スポーツのある暮らし
- ・滞在が目的になる新しい観光
- ・生産者と食べる人をつなぐ市民食堂
- ・こにゃん市役所プロジェクト
- ・タピオカ研究所
- ・ものづくりの拠点 / 未来志向の公民館
- ・地域が育てる自分たちのBookstore & Cafe
- ・自由提案

NCL西条：7プロジェクト

- ・豊かな自然環境へのアクセス
- ・地域の未来に向けて農業ができること
- ・食品の全てを掌るプロフェッショナル
- ・地域の魅力を伝えるグッドローカルカンパニー
- ・西条とベトナムその先のアジアネットワーク
- ・地域をつなぐマイクロワークと小さな経済圏
- ・自由提案

NCL宮崎：9プロジェクト

- ・地域密着型ブリュワリー
- ・自立した人財を育成するプログラミング教育
- ・「稼げる農園」を経営する
- ・世界中に地域の魅力を発信するインバウンド&民泊
- ・持続可能な地域をつくるブランディング
- ・人のつながりを生む進化系地域コミュニティカフェ
- ・問題解決能力の高い子どもを育む地域教育デザイナー
- ・地域の宝を売り込む地域商社
- ・新しい生態系をつくる有機的農業コーディネーター

NCL西会津：6プロジェクト

- ・奥川郷Institute（山の暮らし）
- ・西会津素材 Lab.
- ・西会津商社
- ・西会津編集室
- ・野沢宿の暮らし研究所（まちの暮らし）
- ・西会津まるごとオーベルジュ（食と農のツーリズム）

NCL三条：1プロジェクト

- ・まちを編集する本屋

企業による設置地域への投資の促進

提携企業の設置地域内への投資量（資金、人、技術）

都市部を本拠とする企業による設置地域への投資の促進

・遠野ビール事業

遠野市と麒麟ビールが掲げた「ビールの里構想」を達成するため、また麒麟ビールとしての戦略（CSV/国産ホップの価値化/クラフトビールへの積極介入）を具現化するために、遠野の株式会社NextCommons（NCL遠野運営事務局）と積極的な協働を行っている。具体的には、①起業家が立ち上げた醸造会社の支援②麒麟出資の現地農業生産法人の設立③共同で遠野市への政策提案という点で進行中。

①に関しては、過去に醸造技術研修を実施。麒麟ビールとして初めて外部の民間会社の研修生を受け入れていただいた。起業家として採用されたメンバーによって設立された株式会社遠野醸造は、2018年5月の開業から順調に事業を進めている。設立後も、醸造に関してのトラブルが発生した場合には麒麟ビールの担当者から解決のためのアドバイスをもらうなど支援は継続している。

②に関しては、2018年2月に麒麟から1億5000万、アグリビジネス投資育成株式会社から1億の出資を受け、農業法人 BEER EXPERIENCE株式会社を設立した。日本産ホップ生産の拡大と高度化、遠野パドロン生産の拡大と高収益化、ビアツーリズム事業の確立が目的。NCL遠野で2018年に5名、2019年度には2名の地域おこし協力隊を追加採用し、一部はこの法人のメンバーとして活動している。また、この農業生産法人には麒麟ビールから1名出向しており、現地での活動を加速させている。

③に関しては、2019年度にビールプロジェクトの中長期ビジョン・戦略を作成し、遠野市に提出した。中長期での課題解決、キリンの関わり方について整理した。2020年度からは遠野市の重要戦略としてビールプロジェクトが位置付けられることになり、よりプロジェクトが具現化していくことになる。また、2020年度からはキリンからの企業版ふるさと納税も開始、個人版ふるさと納税の寄付金募集をキリンと連携して拡大していくなど、投資財源確保の動きも進んでいる。

上記のように、キリンビールから、技術・人・資金の投資をいただきながら、遠野のビール事業の実現に向けて引き続き動いている。

Co-Working、滞在スペース、情報発信機能等を備えた東京ハブ拠点および地方拠点の開設/運用 ・各地の拠点状況

地域	拠点整備状況
遠野	中心市街地の空き家を1Fカフェスペース・2Fコワーキングスペースに整備済み。「commons space」として運営。その隣の空き家を「小上がりと裏庭と道具U（ユー）」という1Fコミュニティスペース・2F宿泊施設として改修。LIFULの運営するLiving Anywhere Commonsとも提携し、滞在型のワークスペースとしても運用している。 https://livinganywherecommons.com/base/tono/
奥大和	宇陀市にて文化センターとして利用されていた遊休施設の一部を起業家の拠点として整備。醸造設備を開設し、奥山とビールの醸造を開始。また拠点の隣の元保育園の敷地に厩舎を設置し、馬の飼育も開始。クラウドファンディングで地域に開かれた食に関する図書スペースをDIYで建設した。 https://camp-fire.jp/projects/view/72343
加賀	山中温泉地域に一軒家を改修し、1Fを共有のワークスペース&キッチンとして、2Fは起業家の住居及びゲストルームとして利用。山代温泉地域にメインの拠点「codon（コドン）」を開設し、カフェ営業をする傍ら、NCL加賀事務局、コワーキングスペース、滞在スペースとして活用。またその向かい側にある物件を三つ目の拠点として、物販や滞在スペースなど、地域の人々が集まることのできるスペース「goku（ゴクウ）」を整備済み。3つの拠点をフルに活用するべく現地法人を立ち上げ予定。また専用のウェブサイトを開設予定。 https://nclk.jp/
湖南	JR草津線甲西駅前にある物件（ワンルーム）を事務所兼起業家の拠点として改修し利用中。
弘前	百石町にある元セレモニーホールを改修して、1Fをカフェ・レストラン、2Fをゲストハウスとする拠点「ORANDO（オランダ）」を開設。1Fの一部をカフェ・キッチンとして改修済み。二期目の工事として1F全フロアを対象とし、カフェの拡張とギャラリー/アトリエスペースとして改修。次年度は2Fのゲストハウスが対象となる。 https://aomori-workspace.jp/orando.html
西条	紺屋町と呼ばれる商店街の空き物件を活用し、起業家や地元のフリーランスなどが自由に集まり一緒に仕事をするのできるコワーキングスペース「紺屋町dein（デイン）」として運営している。 https://saijo.mypl.net/mp/newopen_niihama/?sid=66676

・東京拠点『HUMANS』について

神宮前6丁目と神宮前3丁目にNCLのハブ拠点を開設。『HUMANS』という名のワークスペース/イベントスペースと、そのサテライトという位置づけでとして、NCLのスタッフ、各地のコーディネーターや起業家、関係者が利用できる場所として運用。

東京拠点の利活用を促進するために、専門家スタッフ一名と契約し、ワークスペースの会員制度の整備や営業などのサポートを依頼することで、場の活性化を図った。その結果、東京における利用者が増加し、緩やかなコミュニティが形成されつつある。今後、さらに多様な立場の人を巻き込んでいくための基盤ができてきた。

【ワークスペース】

ワークスペースは東京をベースに活動するNCLのスタッフ7名程度が利用するほか、関係者や親和性の高い個人・団体などのためのコワーキングスペースとしての体制を整備。現在編集・ライティングチーム、フリーランス向けのプラットフォームサービス提供チーム、フリーランスのプロデューサーやディレクター、渋谷区議などが、ワークスペースとして利用している。また各地のコーディネーターや起業家などもドロップインで利用する。

新たに自治体向けの利用プランも準備し、多様なステークホルダーによるコミュニティ醸成を目指していく。（メンバー制度案内サイト <https://www.pre-humans.com/>）

【イベントスペース】

採用に関する説明会や、親和性の高いテーマをもつイベントなどを実施。各地域毎の集まりや、テーマ別のイベントなど、様々な切り口で採用や新たなコミュニティにつながる活動の拠点としている。内容を精査した上で、NCLの活動とリンクするようなイベント等に対してはスペース貸しを行っており、より広く活用される場を目指している。

HUMANSでのイベントやミーティング利用：81件（採用説明会を除く）

〈主な開催テーマ〉

- ・ まちに本屋さんがなければ面白くない
- ・ 引きこもりUX会議
- ・ 東北の初夏を直送！ホヤとワインの意外なマリァージュ
- ・ EAT MEET NCL VOL.1 青森の食と農
- ・ ローカルツーリズムのすすめかた -地域資源の発掘とリノベーション-
- ・ NCL3周年感謝祭
- ・ 元ギャルが居場所をつくる やさしいコミュニティづくりのすすめかた
- ・ 地域で学ぶ、地域と学ぶ。 -地域と若者の新しい関係性-
- ・ 台湾からはじまるポスト東京五輪時代
- ・ 地域と企業の関わり方を考える。 -ロート製薬×NCL奥大和の事例から-
- ・ 秋の大収穫祭
- ・ EAT MEET NCL VOL.2 奥大和の馬と食
- ・ ドイツ・オランダ・フィンランド ヨーロッパ3カ国から学ぶ「未来の教育報告会」
- ・ ローカルキャリアのすすめかた 愛媛の限界集落から始まる地方創生
- ・ まちをつくる本屋をつくる会議
- ・ 誰かにとっての「当たり前」が、地域みんなの学びになる 市民大学「つくる大学」の七転び八起き

〈東京拠点でのイベントの様子〉

イベントスペースは最大50程度が着席できる。キッチンがあるため各地の食材を使った地域関連イベントなども何度か開催された。地域関連、社会課題、国際交流、自己啓発、学び、カルチャーなど開催テーマは多岐に渡った。





【サテライト】

サテライトに関しては、地方で活動するコーディネーターや起業家の、東京での滞在スペースとして活用。およそ二年間実施し、利用頻度も高く多くのプレーヤーが滞在した。2020年2月の物件契約の更新に伴い、今後の維持管理コストの見直しと、一方で日本郵政の都内にある有休施設の利活用案などがあり、よりリーズナブルな仕組みとするために、神宮目3丁目のスペースは閉じることとなった。今後は企業との取り組みなどを念頭に置きつつ、新たなかたちでのレジデンス機能の実装を模索していく。

2019年度 利用回数：174回／利用者数：延べ188名

拠点運用についての課題について

・運営方針

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて、働き方や活動の仕方がこれまでと大きく変わっていく可能性が出てきた。そのため、これまでのように多くの人が集まるイベントやワークスペースの運営自体を見直すべき、という議論もある中で、東京のHUB拠点をどのように活用し運営していくかは、改めて設定していく必要がある。

NCLの担うプロジェクトは今後さらに多様化していくため、そうした活動のハブ拠点として引き続き運用方法や体制づくりについては状況をみながらアップデートしていく。

・コンテンツ

イベントの開催などは今後制限される可能性があるため、現在準備している人材育成や学びに関わるコンテンツ事業なども、リアルのある場はありながら、オンラインで提供できる環境づくりや仕組みづくりを重視し、設計/運用していく方向性になりつつある。またワークスペースとしてもこれからの働き方を見据えた改修やサービス設計などが必要になる。

・コミュニティ

リアルでのイベント開催などが難しくなってくることを想定し、オンラインも含めた、繋がりやコミュニティのあり方を設計する。その中でHUMANSという拠点をどう活用していくかを合わせて議論していく。NCLを取り巻くコミュニティにも様々なレイヤーがあるため、それぞれにとって価値のある拠点利用ができる制度設計が必要。

・ネットワーク

NCLが描く分散型の社会において、様々な場所やそこに紐づくコミュニティ同士の接続は今後の重要なトピックとなっていく。その中でリアルな場をもつ拠点とそれをつなぐネットワークの構築は、基本的な社会インフラとして整備すべきと考えている。関係する拠点が増えていく中で、相互利用の仕組みづくりなどを構想し整備していく。

②環境的制約を解消する

全国の自治体や導入検討組織への訪問、NCLモデルの導入促進

現在検討を進めている自治体 / エリア：和歌山県高野町、宮崎県日南市、福島県浪江町

当事者性を持ってネットワークを必要とする人が参画し、実態のあるつながりを社会に実装することで、新しい社会の基盤となるようなプラットフォームを構築するため「組合型」株式会社Next Commons Labを設立し、全国から賛同者を募った。これまでNCLが培った経験や知識をオープンソース化し全国で活躍する地方創生プレーヤーと協働することで、社会変革をよりドラスティックに進める。2019年度の達成目標である、全国拠点40は下記メンバーとのパートナーシップにより達成した。2020年度はさらにネットワークを掘り起こし当初目標であった100拠点を達成する。

参画を表明している地方創生プレーヤー

No	都道府県	市区町村	所属組織/プロジェクト名	氏名
1	北海道	旭川市	sanagy	菊池佳
2	岩手県	釜石市	一般社団法人地域・人材共創機構	石井重成
3	岩手県	石巻市	Fishermans Japan	長谷川琢也
4	秋田県	秋田市	秋田総合研究所	須田 紘彬
5	宮城県	塩竈市	合同会社fluir	久保田靖郎

6	福井県	鯖江町	フリーランス	森一貴
7	石川県	七尾市	七尾自動車学校	森山明能
8	新潟県	新潟市	株式会社Riparia	室田 雅貴
9	高知県	本山町	NPO法人ひとまき	矢野大地
10	福岡県	上毛町	ミライノシカケ	西塔大海
11	鹿児島県	阿久根市	まちの灯台阿久根	石川秀和
12	三重県	尾鷲市	夢古道おわせ	伊東将志
13	神奈川県	鎌倉市	HATSU鎌倉	町塚俊彦
14	埼玉県	小川町	people.unc	柳瀬武彦
15	千葉県	金谷市	株式会社Ponnuf	山口拓也
16	静岡県	焼津市	一般社団法人トリナス	土肥潤也
17	富山県	高岡市	株式会社Lxdesign	金谷智
18	静岡県	富士市	勝亦丸山建築計画	勝亦優祐
19	沖縄県	うるま市	プロモーションうるま	菊地竜生
20	和歌山県	高野町	高野山真言宗金剛峯寺	飛鷹全法
21	山形県	酒田市	合同会社飛鳥	松本友哉
22	福井県	南越前町	流動創生	山岸竜也
23	鳥取県	大山町	フリーランス	大見謝将五
24	岐阜県	郡上市	一般社団法人中濃地域内循環イニシアチブ	小森胤樹
25	新潟県	三条市	MGNET	武田修美
26	北海道	遠軽町	フリーランス	佐野和哉
27	東京都	墨田区	株式会社ルネサンス	高島斉
28	石川県	金沢市	株式会社ガクトラボ	仁志出憲聖

最終調整中含む

ブロックチェーンおよび暗号資産の導入による個人間の多様な価値創造・交換の実現

NCL加賀では市の「生涯活躍のまち」構想に基づき地域のニーズに対処するプロジェクトを持つNPOやまちづくりに取り組む任意団体、市民講座を開催できるグループ・個人を選出し、あらかじめポイントを付与、参加費もポイントで徴収することで、資産のあるなしにかかわらず、自己実現や適切な支援を受けられるような環境を整備することを目指した実証実験を予定している。

NCL遠野は作業療法士による地道な現地住民へのヒアリングやコミュニティ形成の実績への期待から、2020年度から一般財団法人「社会変革推進財団」の投資を受け、社会的インパクトの成果指標を導入しキャパシティビルディングをはかることになった。電子地域通貨については幾つかの自治体と協議を行い、発行や運用のための要件などを検証したが、多くの課題があり難航している。新たに日本郵政やJR東日本などインフラを持つ企業と組み可能性を見いだそうとしている。

マイクロワークアプリ『COMMONS PEOPLE』の開発

NCLでは、ネットワーク全体でのシナジーを考慮し、一般的なサーバー型ではなく、ブロックチェーン技術を用いたアプリケーションの開発を終え、普及前の実証実験を準備している。管理画面を導入し、NCLの従事者からだけでなく、ガイドを養成することでまちの様々な箇所に窓口を作り一般の方に誰でもポイントを付与できるようにした。地域のニーズに対処するプロジェクトを持つNPOやまちづくりに取り組む任意団体などにポイントを配布し、地域での支え合いのネットワークの創出も計画している。またQRコードの読み取り機能も搭載したので店頭でポイントによるキャッシュレス決済もできるようになった。祭などの地域のイベントや、清掃など行政からの委託、商工会との連携などを行うことで地域活性につながる経済圏の構築にも繋げていきたい。

ADMINISTRATION
権限: コミュニティ管理者

- コミュニティ管理
 - コミュニティ詳細
 - 窓口担当者/管理者管理
 - ウォレット
 - トランザクションウォレット
 - COM ETH 管理
- ユーザー管理

コミュニティ詳細



コミュニティID: 76a9bbc3 作成日時: 2019.01.01.12:06

コミュニティ名: 遠野

ステータス: 公開

管理者: AKIRA | YUMA0101

管理画面URL: https://

説明: 遠野エリア居住者のコミュニケーションを活性化するためのコミュニティ

コイン名: ヤナギダコイン

トランザクションフィー (%) : 4.5

総発行コイン数: 1,500,000

総メンバー数: 1,234

メンバー

ユーザー名	ユーザーID	所属コミュニティ	残コイン数	最終ログイン日時	アカウント作成日時	詳細
鈴木太郎	76a9bbc3	遠野 / HUMAN / ...	15,000	2019.02.08.15:43	2019.01.01.12:06	詳細
鈴木太郎	76a9bbc3	遠野 / HUMAN / ...	15,000	2019.02.08.15:43	2019.01.01.12:06	詳細
鈴木太郎	76a9bbc3	遠野 / HUMAN / ...	15,000	2019.02.08.15:43	2019.01.01.12:06	詳細
鈴木太郎	76a9bbc3	遠野 / HUMAN / ...	15,000	2019.02.08.15:43	2019.01.01.12:06	詳細
鈴木太郎	76a9bbc3	遠野 / HUMAN / ...	15,000	2019.02.08.15:43	2019.01.01.12:06	詳細
鈴木太郎	76a9bbc3	遠野 / HUMAN / ...	15,000	2019.02.08.15:43	2019.01.01.12:06	詳細
鈴木太郎	76a9bbc3	遠野 / HUMAN / ...	15,000	2019.02.08.15:43	2019.01.01.12:06	詳細
鈴木太郎	76a9bbc3	遠野 / HUMAN / ...	15,000	2019.02.08.15:43	2019.01.01.12:06	詳細
鈴木太郎	76a9bbc3	遠野 / HUMAN / ...	15,000	2019.02.08.15:43	2019.01.01.12:06	詳細
鈴木太郎	76a9bbc3	遠野 / HUMAN / ...	15,000	2019.02.08.15:43	2019.01.01.12:06	詳細

ADMINISTRATION
権限: コミュニティ管理者

- コミュニティ管理
- ユーザー管理

ユーザー詳細情報



ユーザーID: 76a9bbc3 アカウント作成: 2019.01.01.12:06

ユーザー名: 鈴木太郎

メールアドレス: suzuki@.....

電話番号: 00088884444

所有権限: 一般

所属コミュニティ: 遠野 | HUMANS | 加費

コミュニティ: 遠野 最終ログイン: 2019.02.08.15:43

所有コイン数: 15,000 coin コイン付与

トランザクション QRコード



印刷

管理画面イメージ

③情報の不足を解消する

各地NCLへの参画者を募る説明会・イベントの開催

・募集採用活動について

募集採用活動はNCLのコミュニティネットワークを用い、SNS等のメディアを効果的に活用しながら、新たな地域で事業づくりを行う起業家と、そのコミュニティの形成を担うコーディネーターの募集を行っている。また「東京拠点構想」でも述べたように、単なるインターネット上の募集の告知にとどまらず、リアルな場を作ることで、今までの確に育むことのできていなかった多様な人材との関係性の構築を目指している。※募集・採用のプロセスは、募集時期や取り組むプロジェクトにより異なる。選考に関しては、下記の図の通り、書類選考→1次面接→2次面接→最終面接までの4ステップを設け選考にあたっている。各ステップで評価項目を定め、2名以上の面接官で定量評価を行い、基本的にはその評価項目を満たすメンバーのみを次ステップに進める形としている。一方でこの仕組みも可変的なものであり、その時期、また実際に参画いただきたい方の属性により適した形となるよう、このプロセス自体をアップデートしている。

コーディネーターの選考ステップ

選考段階	評価軸	評価項目	面接時の質問
エントリーシート	伝える力	受け手の心に響く表現を使えている 現状・課題・解決策などが整理できている 自分とNCLチーム全体の課題とをすりあわせられている	—(200文字内に収まっている、論旨が明快である)
オンライン面接 30-45分	意欲	NCLで得られるモチベーションとズレはないか	Q1: 仕事中にテンションがあがる瞬間はどんな時ですか? エピソードを一つあげて、具体的に教えてください(10分)
	自己客観性	自分の行動が、どう見られているかメタ認知できている 自分の特性や、成長に必要なポイントを理解できている	Q2: 書類選考が通った理由とはご自身ではなんだと思いますか? (10分) Q3: 現職の上司から最近受けたフィードバックで、ポジティブなものとネガティブなものを教えてください(10分) Q4: その指摘(フィードバック)に対して、どのような対策を実行していますか? ※時間があれば
グループ面接 180-200分 ※2人1組	問いの立て方	人の話を取っていない、ずらしていない 発散と収束、2種類の問いかけができている 相手が大切にしているニーズを引き出している	Q1: お互いに、希望職種に志望した理由を聞き出してください(25分) Q2: お互いに、NCLで働くにあたって解消したい不安、理解を深めたい点を聞き出してください(30分)
	協同性	相手が今必要なものを、一緒に探している 上から目線ではなく、対等な目線で話している	ランチ休憩(60分) Q3: お互いに、NCLで働くにあたって、強みになる点、弱みになる点、伸ばせる点をフィードバックしてください(30分)
	状況判断力	状況に応じて、言葉や役割を変えられている 状況に応じて、発揮すべき能力を変化できている 全体のバランスをとるための行動がとれている	ランチ・お茶休憩(60分) ※出前をとる。机に台拭きを置いておく。準備・片付けなど手伝うか
着任予定地FW ※コーディネーターの	具体性 現実性	実体験や客観的状況を元に提案できている リスクや工数を考慮しながら、提案している ものごとの優先順位が整理できている	Q1: あなたが考える視察先の街が抱えている課題を具体的な数字を踏まえて各100文字以内で3つ洗い出してください Q2: その中から一つを選んで、あなたが当事者ならどのような行動を起こすか、解決策を各20文字以内で5つ書き出してください Q3: 5つに優先順位をつけて、その理由を200文字以内で教えてください
	意欲	現地で働くイメージがついている	Q4: 着任するにあたってどのような不安があるか教えてください
現地最終面接		受け入れ自治体との相性が良い	—

ラボメンバーの選考ステップ

選考段階	評価軸	評価項目	面接時の質問
エントリーシート	伝える力	具体性のある事業計画書である 明確なビジョンがある 自分とNCLチーム全体の課題とをすりあわせられている	—事業計画書 —作品ポートフォリオ ※デザイン関連
1次面接(東京) 120分 ※3人1組	姿勢	途中で諦めない	4名以上の場合 グループワーク
		自己管理ができる	4名以下の場合 (チェックイン後)メモをご用意いただけますか? 今から30分間お時間をお渡しします。30分後に〇〇さん・小川・佃の3人が、お互いのことを深く知る状態にしてください。話す内容や順番、役割など、30分をどう過ごすかは〇〇さんにお任せします。30分後にこの3人がお互いのことを深く知っていれば、ゴールです。よろしいですか? では、今から30分、よろしくお願います。
	リーダーシップ	主体的に関係者を巻き込める	
2次面接(現地) 60分	リーダーシップ	ビジョンを適切に伝えられる 意欲・当事者意識がある	Q1「本プロジェクトに携わることで、3年後にあなたや周囲はどうなっているか教えてください(10分)」
	姿勢	楽観的である	Q2「ある日、複数の地元の方から反対意見が出てきました。プロジェクトも計画から大幅に遅れています。どのように行動されますか? (10分)」
	具体性 相性	有効なリソースができる パートナーと相性が良い	Q3「合否判定の前に1日、事業計画をブラッシュアップする時間を設定します。と告げられたら、追加で何をリサーチしますか? (10分)」 Q4: 気になる点、聞きたい点など自由に質問ください(30分)
最終面接(現地) 60分	相性	受け入れ自治体との相性が良い	—

説明会開催実績

番号	場所	場所詳細	住所	日付	時間	予約数
1	東京都	2019.04.11(木)	【全体】 HUMANS	東京都渋谷区神宮前 6-27-4 東武第二ビル2階	19:30	2
2	東京都	2019.04.13(土)	【全体】 HUMANS	東京都渋谷区神宮前 6-27-4 東武第二ビル2階	11:00	0
3	宮城県	2019.04.22(月)	【弘前】 【遠野】 【南三陸】 【南相馬】 【西会津】 東北合同説明会 @ enspace	宮城県仙台市青葉区 国分町1-4-9 芭蕉の辻 AGOビル	18:30	6
4	その他	2019.04.24(水)	【南相馬】 オンライン説明会		20:00	2
5	東京都	2019.04.26(金)	【全体】 HUMANS	東京都渋谷区神宮前 6-27-4 東武第二ビル2階	19:30	0
6	東京都	2019.04.28(日)	【全体】 HUMANS	東京都渋谷区神宮前 6-27-4 東武第二ビル2階	11:00	4
7	その他	2019.05.15(水)	【南相馬】 オンライン説明会		20:00	4
8	東京都	2019.05.17(金)	【全体】 HUMANS	東京都渋谷区神宮前 6-27-4 東武第二ビル2階	19:30	4
9	東京都	2019.05.18(土)	【全体】 HUMANS	東京都渋谷区神宮前 6-27-4 東武第二ビル2階	11:00	0
10	その他	2019.05.28(火)	【南相馬】 オンライン説明会		20:00	3
11	東京都	2019.05.31(金)	【全体】 HUMANS	東京都渋谷区神宮前 6-27-4 東武第二ビル2階	19:30	0
12	東京都	2019.06.01(土)	【全体】 HUMANS	東京都渋谷区神宮前 6-27-4 東武第二ビル2階	11:00	4
13	その他	2019.06.11(火)	【南相馬】 オンライン説明会		20:00	1
14	東京都	2019.06.14(金)	【全体】 HUMANS	東京都渋谷区神宮前 6-27-4 東武第二ビル2階	19:30	3
15	東京都	2019.06.15(土)	【全体】 HUMANS	東京都渋谷区神宮前 6-27-4 東武第二ビル2階	11:00	0
16	青森県	2019.06.22(土)	【弘前】 現地ツアー	青森県弘前市百石町 47-2	13:00	2
17	その他	2019.06.26(水)	【南相馬】 オンライン説明会		20:00	2
18	東京都	2019.06.28(金)	【全体】 HUMANS	東京都渋谷区神宮前 6-27-4 東武第二ビル2階	19:30	0
19	その他	2019.06.28(金)	【全体】 オンライン説明会		15:00	0
20	東京都	2019.06.29(土)	【全体】 HUMANS	東京都渋谷区神宮前	11:00	0

				6-27-4 東武第二ビル2階		
21	その他	2019.07.01(月)	【遠野】オンライン説明会		20:00	1
22	東京都	2019.07.05(金)	【全体】HUMANS	東京都渋谷区神宮前 6-27-4 東武第二ビル2階	19:30	0
23	東京都	2019.07.06(土)	【全体】HUMANS	東京都渋谷区神宮前 6-27-4 東武第二ビル2階	11:00	2
24	その他	2019.07.06(土)	【全体】オンライン説明会		15:00	0
25	その他	2019.07.06(土)	【遠野】オンライン説明会		14:00	0
26	東京都	2019.07.18(木)	【全体】HUMANS	東京都渋谷区神宮前 6-27-4 東武第二ビル2階	19:30	4
27	宮城県	2019.07.18(木)	【遠野】 【南三陸】 【南相馬】東北合同説明会 @ enspace	宮城県仙台市青葉区 国分町1-4-9 芭蕉の辻 AGOビル	18:30	2
28	東京都	2019.07.20(土)	【全体】HUMANS	東京都渋谷区神宮前 6-27-4 東武第二ビル2階	11:00	2
29	その他	2019.07.21(日)	【奥大和】オンライン説明会		19:00	0
30	その他	2019.07.23(火)	【南相馬】オンライン説明会		20:00	0
31	その他	2019.07.29(月)	【遠野】オンライン説明会		20:00	1
32	その他	2019.07.31(水)	【奥大和】オンライン説明会		19:00	0
33	その他	2019.08.01(木)	【遠野】オンライン説明会		20:00	0
34	その他	2019.08.06(火)	【遠野】オンライン説明会		20:00	1
35	その他	2019.08.10(土)	【遠野】オンライン説明会		11:00	2
36	東京都	2019.08.10(土)	【全体】HUMANS	東京都渋谷区神宮前 6-27-4 東武第二ビル2階	11:00	2
37	その他	2019.08.11(日)	【遠野】オンライン説明会		20:00	0
38	その他	2019.08.18(日)	【遠野】オンライン説明会		10:00	1
39	その他	2019.08.20(火)	【南相馬】オンライン説明会		20:00	3
40	東京都	2019.08.31(土)	【全体】HUMANS	東京都渋谷区神宮前 6-27-4 東武第二ビル2階	11:00	4
41	その他	2019.08.31(土)	【全体】オンライン説明会		11:00	6
42	その他	2019.09.11(水)	【南相馬】オンライン説明会		20:00	2
43	東京都	2019.09.21(土)	【全体】HUMANS	東京都渋谷区神宮前	11:00	1

				6-27-4 東武第二ビル2階		
44	その他	2019.09.21(土)	【全体】オンライン説明会		11:00	3
45	その他	2019.09.26(木)	【南相馬】オンライン説明会		20:00	2
46	東京都	2019.10.05(土)	【全体】HUMANS	東京都渋谷区神宮前 6-27-4 東武第二ビル2階	11:00	2
47	その他	2019.10.05(土)	【全体】オンライン説明会		11:00	5
48	その他	2019.10.15(火)	【南相馬】オンライン説明会		20:00	3
49	福島県	2019.10.25(金)	【南相馬】現地ツアー 小高パイオニアヴィレッジ集合	福島県南相馬市小高区本町1-87	13:00	0
50	その他	2019.10.30(水)	【南相馬】オンライン説明会		20:00	1
51	その他	2019.11.14(木)	【南相馬】オンライン説明会		20:00	2
52	東京都	2019.11.16(土)	【全体】HUMANS	東京都渋谷区神宮前 6-27-4 東武第二ビル2階	11:00	1
53	その他	2019.11.16(土)	【全体】オンライン説明会		11:00	1
54	その他	2019.11.26(火)	【南相馬】オンライン説明会		20:00	3
55	その他	2019.12.18(水)	【南相馬】オンライン説明会		20:00	14
56	東京都	2019.1.11(土)	【東京】HUMANS説明会	東京都渋谷区神宮前 6-27-4 東武第二ビル2階	11:00	6
57	その他	2019.1.11(土)	【全国】オンライン説明会		11:00	2
58	その他	2019.1.28(火)	【南相馬】オンライン説明会		20:00	8
59	その他	2020.2.18(火)	【南相馬】オンライン説明会		20:00	3
60	東京都	2019.2.29(土)	【弘前】HUMANS説明会	東京都渋谷区神宮前 6-27-4 東武第二ビル2階	11:00	1
61	その他	2020.3.3(火)	【南相馬】オンライン説明会		20:00	1
62	その他	2020.3.7(土)	【全国】オンライン説明会		11:00	6
合計						135

イベント開催実績

今期は説明会を通じた直接的な情報の伝達のみならず、東京拠点であるHUMANSを活用したイベント開催も行い、東京を中心とした様々な層の潜在的な候補者に対して情報提供を行った。

イベントの抜粋画像



イベント開催概要

項目	内容
タイトル	まちに本屋さんがなければ面白くない No Bookstore, No Fun
日付	2019年8月18日 (日) 14:00 - 16:30
内容紹介	<p>今まちの本屋を始めることについて考える</p> <p>全国12カ所に拠点をつくり、起業家支援とコミュニティづくりを行なっているNext Commons Labが、新潟県三条市を舞台として、新たな本屋づくりに挑戦します。今の時代、まちにとって本屋はどんな意味を持つのか。本屋という人・場所にできることとは何か。まちに本屋を残していくにはどうすれば良いのか。編集的な視点と技術をもって、まち全体を編集していくことは可能なのか。</p> <p>すでに多くが語られてきた『本』がもつ可能性について、編集者や本の仕事に関わるゲスト、まちづくりやコミュニティづくりに関わるプレーヤーを迎えて『まちづくりと編集』という切り口から整理し考え直します。</p> <p><開催概要></p> <p>日時：2019年8月18日 (日) 14:00-16:30</p> <p>場所：HUMANS by Next Commons Lab (渋谷区神宮前6-27-4 東武第二ビル2階)</p> <p>登壇者：藤本智士 (有限会社りす)、川上 洋平 (book pick orchestra)、武田修美 (株式会社MGNET)、林篤志 (Next Commons Lab)</p> <p>*参加無料</p> <p>*本イベントは多数の申し込みをいただいております。ご到着が遅くなられる場合、立席でのご参加となる可能性がございます。ご了承のほど、お願い申し上げます。</p> <p><タイムライン></p> <p>14:00-14:30 まちづくりというふるまい/ 例えば三条について<武田修美x林篤志></p> <p>14:30-15:15 編集のしごと/本屋の可能性<藤本智士x川上洋平></p> <p>(5分休憩)</p> <p>15:20-16:00 まちを編集することについて/質疑応答<全員></p> <p>16:00-16:30 懇親会</p>

	<p>Next Commons Labでは、一緒に本屋&まちづくりに取り組みたいという仲間を募集しています。</p> <p>http://project.nextcommonslib.jp/project/community-bookstore/</p>
会場	HUMANS 東京都渋谷区 神宮前6丁目-27-4 東武第二ビル2階
予約者数	63名

項目	内容
タイトル	EAT MEET NCL VOL.1 青森の食と農
日付	2019年8月23日 (金) 19:30 - 22:30
内容紹介	<p>\ EAT MEET NCL を 開催します!! /</p> <p>全国に12拠点を構えるようになったNCLが、東京と地域をつなぐ新たなイベント「EAT MEET NCL」をスタートします。</p> <p>日時：2019年8月23日 19:30-22:30</p> <p>場所：Humans by Next Commons Lab 東京都 渋谷区神宮前6-27-4 東武第二ビル2F</p> <p>毎回地域のゲストと地域の軽食をご用意し、東京にしながら、地域の活動に触れることのできる機会をご提供します◎</p> <p>食材の背景を知ることは、美味しい食事につながるだけでなく、食と消費の関係について考えを深める、学びの時間にもなるでしょう。</p> <p>その土地の食に舌鼓を打ちながら、その食材を作った人や風土に、思いを巡らせてみてください。</p> <p>記念すべき1回目の地域は、青森県弘前市。</p> <p>そこでは基幹産業のひとつであるりんごを扱ったプロジェクトや、地域に根ざしたワインの醸造プロジェクトがスタートしています。また地域の一次産品を取り扱う地域商社のようなプロジェクトもメンバーの募集をしています。</p> <p>今回は実際に弘前で起業に取り組むNCLメンバーをゲストとして呼びし、ワインを起点とした農や食に関わる現状や、実際に起業をしていく上でのやりがいや難しさなど、生の声をお伺いします！！</p> <p>(*記念すべき初回ということで、特別価格500円にて青森の軽食とお酒が楽しめます!! peatixでご予約の上、明治神宮前のHUMANSまでお越しください)</p> <p>[-こんな人におすすめ!-]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の農や食に興味がある ・いつかは青森に戻りたい ・NCLの地域での活動・起業に興味がある ・実は地元での起業を考えている ・ローカルの美味しいお酒や食事を楽しみたい ・ワインの醸造に興味がある
会場	HUMANS 東京都渋谷区 神宮前6丁目-27-4 東武第二ビル2階
予約者数	41名

項目	内容
タイトル	ソムリエ&ビール醸造家に聞く「食で起業」のすすめかた
日付	2019年8月24日(土) 14:00 - 16:00
内容紹介	<p>＼「食で起業」のイベントを開催します!! /</p> <p>人間の生活と食は、決して切り離すことができません。 しかし、食に関わる仕事といったときに、果たしてどんな関わりを想像できるでしょうか？</p> <p>今回はNext Commons Labのメンバーから、弘前市でワイン醸造家を目指して活動する永田朗麻氏と奥大和でビール醸造家として活動する米田義則氏をお招きし、トークイベントを開催します。</p> <p>お二人の活動に関するお話のほか、醸造家だからこそのお酒トーク、起業家として食に関わることの醍醐味などをお伺いします。</p> <p><開催概要> 日時：2019年8月24日(土) 14:00-16:00 場所：FabCafe MTRL 東京都渋谷区道玄坂1丁目22-7 道玄坂ピア2F 参加費：無料</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本当に食べていけるの？ ・起業の理想と現実の違いは？ ・今までの生活や仕事とどんな違いがあるの？ ・醸造家としての活動の面白さ、難しさ などなど <p>食や酒にまつわるキャリアや生き方を模索している方、ぜひご参加ください!!</p> <p><タイムライン> 14:00-14:20 食で起業を応援する <Next Commons Lab> 14:20-14:40 ソムリエからワイン醸造家へ -お酒でつながるキャリア- <永田朗麻> 14:40-15:00 山でつくるハーバルビール -奥大和ビールの話- <米田義則> 15:00-15:10 休憩 15:10-15:30 乾杯&食で起業のすすめかた <永田朗麻x米田義則> 15:30-16:00 懇親会</p> <p>こんな人におすすめ！</p> <ul style="list-style-type: none"> ・起業を検討している ・食・酒にまつわるキャリアに興味がある ・醸造/酒造りについて知りたい ・NCLの起業家と話をしたい ・昼からビールで乾杯したい
会場	FabCafe MTRL (MTRL TOKYO) 渋谷区道玄坂1丁目22-7 道玄坂ピアビル2階
予約者数	37名

項目	内容
タイトル	わかもの育成を仕事にする!! 「地域×学び」のすすめかた
日付	2019年9月10日(火) 19:00 - 21:00
内容紹介	<p>＼地域×学びのイベントを開催します!! /</p> <p>進学や偏差値のみを目的にした学びに限界を感じている。 学びに関わっているが、理想と現実のギャップが大きい。</p>

	<p>学びを切り口に活動に取り組むものの、マネタイズや事業化が難しい。こう言った声を聞くことは、決して少なくありません。</p> <p>今回は「地域×学び」のすすめかたをテーマに、N高等学校で地域連携や、長野県小布施町でまちづくりに取り組む間瀬海太氏。静岡県焼津市で若者とまちづくりをキーワードに事業に取り組む土肥潤也氏をお呼びし、トークイベントを開催します。</p> <p>地域をフィールドに事業を作ることの意義や、「学び」を事業化する方法など、地域における最先端の事例を紹介しつつ、会場のみなさんと一緒に考え、学ぶ時間を準備します。</p> <p>学びを生業にしたい方、学びで事業作りをしたい方、ぜひご参加ください!!</p> <p><開催概要> 日時：9月10日(火) 19:00-21:00 場所：150-0001 東京都 渋谷区 神宮前6-27-4 東武第二ビル2F 登壇者：間瀬海太（学校法人角川ドワンゴ学園 N高等学校）、土肥潤也（NPO法人わかもののみち 代表理事、コミュニティラボCo-°C（コード）代表） 参加費：無料</p> <p><タイムライン> 18:30-19:00 受付 19:00-19:20 地域×学びを応援する <Next Commons Lab> 19:20-19:40 地域でつくる新たな学び -N高と小布施の現場から- <間瀬海太> 19:40-20:00 コミュニティファシリテーターのしごと -わかもの×まちづくりの仕掛け方- <土肥潤也> 20:00-20:10 休憩 20:10-20:30 地域×学びの未来と可能性 <間瀬海太 x 土肥潤也> 20:30-21:00 懇親会</p> <p><こんな人におすすめ!> 地域×学びという言葉が気になる わかもの×まちづくりの現場を知りたい いつかは学びの領域で事業を立ち上げたい NCLの地域での活動・起業に興味がある ローカル起業のリアルを知りたい</p>
会場	HUMANS 東京都渋谷区 神宮前6丁目-27-4 東武第二ビル2階
予約者数	52名

項目	内容
タイトル	ローカルツーリズムのすすめかた -地域資源の発掘とリノベーション-
日付	2019年10月5日(土) 14:00 - 16:00
内容紹介	<p>＼ 地域×観光 のイベントを開催します!! /</p> <p>2030年には6000万人にもなるであろうと言われている訪日観光客数。旅行や観光業界が活気付くなかで、東京-大阪といったゴールデンルートのみならず、ローカルにおける観光にいま、注目が集まっています。</p> <p>地元の人にとっては当たり前の光景や生活を編集し伝え直すことや、埋もれた魅力を発見し磨き上げることで、交通が不便ななかでも、多くの観光客を集める地域や場所があります。</p> <p>遊休不動産のリノベーションや地域資源の利活用によってダイナミックな事業作りを行う松下秋裕氏、また滋賀県湖南市でエリアリノベーションに取り組む長砂伸也氏をお呼びし、これからのローカルツーリズムについて考えます。</p> <p>地域における観光、またその可能性を最前線のプレイヤーと共に探りましょう!!</p>

	<p><開催概要> 日時：2019年10月5日 14:00-16:00 場所：150-0001 東京都 渋谷区 神宮前6-27-4 東武第二ビル2F by Next Commons Lab 東京都 渋谷区 神宮前6-27-4 東武第二ビル2F</p> <p><タイムライン> 14:00-14:20 ローカル×観光×起業を支援する <Next Commons Lab> 14:20-14:40 地域資源の発掘とホステル経営 <EMBLEM HOTEL ディレクター 松下秋裕氏> 14:40-15:00 宿場町ですすめるエリアリノベーション <NCL湖南 コーディネーター 長砂伸也氏> 15:00-15:10 休憩 15:10-15:40 ローカルツーリズムのすすめ方 <松下秋裕氏 × 長砂伸也氏> 15:40-16:00 懇親会</p> <p><こんな人におすすめ！> 地域*観光について学びたい ローカルでの事業作りに関心がある 観光や旅行といったキーワードでの起業を検討している NCLの地域での活動・起業に興味がある エリアマネジメントやリノベーションに興味がある</p> <p><参加費> 500円</p>
会場	HUMANS 東京都渋谷区 神宮前6丁目-27-4 東武第二ビル2階
予約者数	37名

項目	内容
タイトル	元ギャルが居場所をつくる やさしいコミュニティづくりのすすめかた
日付	2019年10月30日 (水) 19:00 - 21:00
内容紹介	<p>\ 地域×コミュニティのイベントを開催します!! / 全国12箇所の拠点を持つNCLでは、全国様々な形でコミュニティづくりを行なっています。今回はそんなNCLの中から、実際に現場で活動するコミュニティマネージャーの二人をお呼びします。</p> <p>一人目は岩手県遠野市で次世代のための公民館『小上がりと裏庭と道具U』の立ち上げや、多様な企画を通じて居場所作りをしてきた元ギャルギャルの家富万里さん。二人目は同じく元Bギャルギャルで、今は石川県加賀市のカフェ『山代コドン』の運営を行うかたわら、地域社会でマイノリティになりがちな方々（LGBTや登校困難者など）にも開かれた居場所づくりを進める小杉真澄さんです。</p> <p>モデレーターとしてNext Commons Lab遠野及びひきこもりUX会議で活動する室井舞花さんをお呼びします。</p> <p>この度のイベントは2部制とし、 1部が19:00-21:00のトークイベント 2部が21:00以降の出張スナック となっております。</p> <p>出張スナックでは、登壇者が実際に開店しているお店を東京にお呼びし、ライブな関係性作りをお楽しみいただけます。（*スナックにご参加を希望される方は「参加チケット」とは別に「出張スナックチケット」が必要となります。ご了承ください。） お時間が遅くなってしまうかもしれませんが、リアルなコミュニティづくりを、ぜひご体験ください。</p>

	<p>情熱と行動力に溢れるお二人のご活動についてお話を聞きつつ、実践を通じた学びから、個性が輝く、やさしいコミュニティづくりのヒントを探ります。</p> <p><開催概要> 日時：2019年10月30日 19:00-21:00 場所：HUMANS by Next Commons Lab 東京都 渋谷区 神宮前6-27-4 東武第二ビル2F</p> <p><タイムライン> 19:00-19:20 ローカルコミュニティとコーディネーター <Next Commons Lab> 19:20-19:40 遠野でつくる居場所 Uの事例 <家富万里> 19:40-20:00 温泉街のカフェで営むコミュニティ <小杉真澄> 20:00-20:10 休憩 20:10-20:40 やさしいコミュニティづくりのすすめ方 <家富万里 × 小杉真澄> 20:40-21:00 懇親会 & 第1部終了 21:00-22:00 第2部 出張スナック トマト飛ぶ&スナック真澄</p> <p><こんな人におすすめ！> コミュニティを作っていきたいと考えている ローカルでの居場所作りに関心がある NCLの地域での活動に興味がある コーディネーターという仕事に興味がある</p>
会場	HUMANS 東京都渋谷区 神宮前6丁目-27-4 東武第二ビル2階
予約者数	28名

項目	内容
タイトル	地域で学ぶ、地域と学ぶ。 -地域と若者の新しい関係性-
日付	2019年11月11日 (月) 19:00 - 21:00
内容紹介	<p>地域で学ぶ、地域と学ぶ。 2014年に「消滅可能性都市」という言葉が提唱されて以来、様々なかたちで地方創生への取り組みが行われてきました。 しかしながら、地方都市から東京圏への転入超過は、引き続き高い水準で続いています。そのような状況の中、学びや事業のフィールドとして地域に可能性を見出し、新たな関わり方を模索する人々がいます。 今回は「地域で学ぶ、地域と学ぶ。」をテーマに、さとのば大学の信岡良亮さんをモデレーターとしてお呼びし、学びを深めます。 さとのば大学は「地域を旅する大学」というコンセプトのもと、岡山県西粟倉村、島根県海士町、宮城県女川町、宮崎県新富町といった4つの地域と連携し地域への留学生を受け入れるとともに、オンライン・オフラインでの新たな学びの場を創っています。 また聴き手として、わかもの地域づくりへの参画を進める「NPO法人わかものまぢ」の土肥潤也さんをお呼びします。 縮退する地域において、若者と地域の関わり方は、どのように変化をしていくのでしょうか。 また、どのような関わり方が、より良い未来に繋がるのでしょうか。 若者と地域の新たな関係性の紡ぎ方を、一緒に考えましょう。</p> <p><開催概要> 日時：2019年11月11日(月) 19:00-21:00 場所：150-0001 東京都 渋谷区 神宮前6-27-4 東武第二ビル2F HUMANS by Next Commons Lab 登壇者：信岡良亮（アスノオト/さとのば大学）、土肥潤也（わかものまぢ/コミュニティ</p>

	<p>ラボCo-°C)</p> <p>参加費：1000円（学生：無料）</p> <p><タイムライン></p> <p>19:00-19:10 地域の学びを促進する<Next Commons Lab></p> <p>19:10-19:40 さとのば大学の構想と地域の未来<信岡良亮></p> <p>19:40-19:50 休憩</p> <p>19:50-20:30 地域と若者の新しい関係性/質疑応答<信岡良亮×土肥潤也></p> <p>20:30-21:00 懇親会</p>
会場	HUMANS 東京都渋谷区 神宮前6丁目-27-4 東武第二ビル2階
予約者数	34名

項目	内容
タイトル	地域と企業の関わり方を考える。 -ロート製薬×NCL奥大和の事例から-
日付	2019年11月12日(火) 18:00 - 20:30
内容紹介	<p>\ 地域×企業のイベントを開催します!! /</p> <p>地方創生という言葉が語られ始めて、はや数年が経ちました。</p> <p>多くの企業がCSRやCSV、また新規事業の一環として地域に目を向けています。</p> <p>様々な取り組みがなされる一方で、具体的な活動や成果につながらないと、悩みを持つ企業の方も多いのではないのでしょうか。</p> <p>Next Commons Labは起業家のみならず、多くの企業とパートナーシップを組み、地域での事業に取り組んでいます。</p> <p>今回は奈良県奥大和地域で活動に取り組むロート製薬の生田さんをお呼びし、お話をお聞きます。</p> <p>生田さんは、NCLのコーディネーターをしながらAGRI BASE NARAというスモールラボを運営するなど、未来の食農の在り方を奥大和で模索しています。</p> <p>社員として地方創生に取り組む意義、実際の活動の様子ともたらされた変化、新たな時代における企業と地域の関わり方について、会場を交えながら考えます。</p> <p>地方創生のヒント、地域と企業のより良い関係性を模索する方、社会貢献と事業の両立を目指す方、ぜひお越しください!!</p> <p><開催概要></p> <p>日時：11月12日(火) 18:00-20:30</p> <p>場所：150-0001 東京都 渋谷区 神宮前6-27-4 東武第二ビル2F</p> <p>登壇者：生田優希（ロート製薬株式会社/ NCL奥大和コーディネーター）、林篤志(Next Commons Labファウンダー)</p> <p>参加費：1000円(懇親会付き)</p> <p><タイムライン></p> <p>17:30-18:00 受付</p> <p>18:00-18:20 企業と共創するNCL <Next Commons Lab ファウンダー 林篤志></p> <p>18:20-18:40 奥大和でつくる未来の食のスタンダード <ロート製薬 生田優希></p> <p>18:40-18:50 休憩</p> <p>18:50-19:30 企業と地方創生のこれから <林篤志 x 生田優希></p> <p>19:30-20:30 懇親会</p> <p><こんな人におすすめ! ></p> <ul style="list-style-type: none"> ・CSR/CSVをより推し進めたい ・社会貢献性のある事業作りをしたい ・地域との関わり方を模索している ・サラリーマンとして地方に関わりたい

	・社内の人材育成に課題感を持っている
会場	HUMANS 東京都渋谷区 神宮前6丁目-27-4 東武第二ビル2階
予約者数	27名

項目	内容
タイトル	EAT MEET NCL VOL.2 奥大和の馬と食
日付	2019年12月1日 (日) 10:30 - 13:30
内容紹介	<p>【ハーバルビール&野菜付き】 \ EAT MEET NCL Vol.2 奈良県の起業と食のイベントを開催します!! / 【先着15名さま限定です】</p> <p>ご好評につき、関西初上陸！NCL全国12拠点が都会と地域をつなぐEAT MEET NCL。第一回はお申し込み多数で、増席となりました。今回は【奈良県】で活動するゲストが参加します!!</p> <p>NCL奥大和では、和ハーブや香草をブレンドしたクラフトビールのプロジェクト、循環型農業を目指す馬と共に生きるプロジェクトなどがスタートしています。</p> <p>本イベントでは、実際に奥大和で起業に取り組むNCLメンバーをゲストとしてお呼びし、移住や起業をしていく上でのやりがいや難しさなど、生の声をお伺いします。</p> <p>奈良県は宇陀市で生産される新鮮な野菜やビールをご準備し、ローカルの食に舌鼓をうちながら、トークを楽しんでいただけるイベントです!!</p> <p>(*特別価格1500円にて奥大和クラフトビールと軽食が楽しめます!! peatixでご予約の上、GROVING BASEまでお越しください)</p> <p>日時：2019年12月1日 10:30-13:30</p> <p>場所：GROVING BASE (京都市営地下鉄四条駅、阪急京都線烏丸駅 徒歩9分)</p> <p>毎回、地域の食材をご用意し、都会にいながら、地域の活動に触れることのできる機会をご提供します。</p> <p>食材の背景を知ること、美味しい食事につながるだけでなく、食と消費の関係について考えを深める、学びの時間にもなるでしょう。奥大和の土地の食に舌鼓を打ちながら、その食材を作った人や風土に、思いを巡らせてみてください。</p> <p>[-タイムライン-]</p> <p>10:15 - 開場&受付開始</p> <p>10:30 - 10:50 アイスブレイク&NCLご紹介</p> <p>10:50 - 11:00 食材の紹介&乾杯</p> <p>11:00 - 12:00 ゲストの活動紹介&トーク</p> <p>12:00 - 13:30 質疑応答&懇親会</p> <p>13:30 - 終了</p> <p>[-こんな人におすすめ! -]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の農や食に興味がある ・いつかは奈良に戻りたい ・NCLの地域での活動・起業に興味がある ・実は地元での起業を考えている ・ローカルの美味しいお酒や食事を知りたい ・馬などの動物に興味がある
会場	GROVING BASE 京都市下京区新町通松原下ル富永町107-1
予約者数	

項目	内容
タイトル	ドイツ・オランダ・フィンランド ヨーロッパ3カ国から学ぶ「未来の教育報告会」
日付	2019年12月1日 (日) 14:00 - 17:00
内容紹介	<p>ドイツ・オランダ・フィンランド ヨーロッパ3カ国から学ぶ「未来の教育報告会」 教育の先進国として知られる「ドイツ」「オランダ」「フィンランド」 同じヨーロッパの国ですが、それぞれ特色を持った教育に取り組んでいます。 学校教育はもちろん、学校外の社会教育など、子どもをひとりの市民へと育てる多様な教育環境が展開されています。 今回の報告会では、この3カ国を訪問した3人からそれぞれの国の「未来の教育」について報告します。 そして、それぞれの国の共通点や違いから、日本の「未来の教育」を考える場にしたいと思えます。</p> <p><開催概要> 日時：2019年12月1日(日) 14:00-17:00 場所：150-0001 東京都 渋谷区 神宮前6-27-4 東武第二ビル2F 150-0001 東京都 渋谷区 神宮前6-27-4 東武第二ビル2F by Next Commons Lab 登壇者：岡田裕介（コーチ）、仁志出憲聖（株式会社ガクトラボ）、土肥潤也（NPO法人わかものまち） 参加費：500円（学生：無料）</p> <p><タイムライン> 14:00-14:30 イントロダクション 14:30-14:50 ドイツ報告<土肥潤也> 14:50-15:00 休憩 15:00-15:20 オランダ報告<岡田裕介> 15:20-15:30 休憩 15:30-15:50 フィンランド報告<仁志出憲聖> 15:50-17:00 トークセッション/会場との意見交換</p>
会場	HUMANS 東京都渋谷区 神宮前6丁目-27-4 東武第二ビル2階
予約者数	65名

項目	内容
タイトル	ローカルキャリアのすすめかた 愛媛の限界集落から始まる地方創生
日付	2019年12月11日 (水) 19:00 - 21:30
内容紹介	<p>今、20代や若者のキャリアの選択肢が、多様になってきています。 若いうちからできることの選択肢が広がったことで 長期インターンや社会貢献活動、海外留学、日本一周など、 多様な経験を積んだ学生が増えてきています。 そんななか地方移住に興味をもつ若者は増加し、 実際に「地方創生」に取り組むような事例も出てきました。 なぜ今ローカルキャリアを選択する若者が増えているのか。 貴重な20代の時間を注ぎ込むほどの魅力は一体何なのか。 今回は愛媛県西条市で起業し、限界集落の活性化に取り組む田村氏をお呼びし、お話を伺います。</p>

	<p>また特別ゲストとして、台湾⇄西条の活性化に取り組む、しんめいPもお呼びします!! お話を聞きしていただくだけでなく、質問や参加者同士のトークを交え、少人数で双方 向のコミュニケーションのある場をつくります。 ローカルキャリアを目指す方、ぜひご参加ください!!</p> <p>【こんな方にオススメ】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地方に漠然とした興味がある ・学生のうちにインターンやボランティアに取り組みたい ・20代のキャリアについて悩んでいる <p>【このイベントで聞けること】</p> <p>ローカルキャリアを選択した若者が、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学生時代に経験したこと ・現在やっていること ・ローカルキャリアを選択した理由 ・これからのキャリアをどうしていきたいか ・今、学生だったらやっておきたかったこと <p>*地域&東京でのインターンシップの紹介もあります！</p> <p><開催概要></p> <p>日時：2019年12月11日(水) 19:00-21:30</p> <p>場所：HUMANS by Next Commons Lab</p> <p>住所：150-0001 東京都 渋谷区 神宮前6-27-4 東武第二ビル2F 150-0001 東京都 渋谷区 神宮前6-27-4 東武第二ビル2F</p> <p>登壇者：田村 裕太郎（合同会社さとらいふ代表/Next Commons Lab西条）、しんめいP（しんめいプロダクション）、竹内 隆太（Next Commons Lab/Commons inc.）、小川 雄（Next Commons Lab）</p> <p>参加費：500円（学生：無料）</p> <p><タイムライン></p> <p>19:00-19:10 地域での挑戦を応援する <Next Commons Lab></p> <p>19:10-19:50 学生時代の経験とさとらいふの取組 <田村裕太郎> 台湾と西条でつくる地方創生 <しんめいP></p> <p>19:50-20:00 休憩</p> <p>20:00-20:45 フリートーク/質疑応答 <田村裕太郎×しんめいP×竹内隆太×小川雄></p> <p>20:45-21:30 懇親会</p>
会場	HUMANS 東京都渋谷区 神宮前6丁目-27-4 東武第二ビル2階
予約者数	15名

項目	内容
タイトル	まちをつくる本屋をつくる会議
日付	2020年1月11日 (土) 13:00 - 16:00
内容紹介	<p>全国12カ所に拠点をつくり、起業家支援とコミュニティづくりを行なっているNext Commons Labが、新潟県三条市を舞台として、新たな本屋づくりに挑戦します。</p> <p>『まちをつくる本屋』をつくるために必要なことってなんだろう？ 自分ならどんな本屋さんをつくるだろう。どんな場所に育てるだろう。 その本屋さんは、まちでどんな存在になるだろう。 そんなことをみんなで考えるイベントです。</p> <p>私たちは実際に三条市に本屋さんを立ち上げます。 このイベントで出てきたアイデアを自分たちの手でカタチにしてみませんか？ 詳細はこちらhttp://project.nextcommonslib.jp/project/community-bookstore/</p>

	<p>【こんな方にオススメ】 ローカルビジネスに挑戦したい人 ローカルで本屋さんを始めたい人 自分の特技を活かすべく、ローカルに飛び込みたい人</p> <p>【このイベントで聞けること】 ・新潟県三条市の現状 ・NCL三条がやろうとしていること ・本屋さん経営の最新情報 ・ローカル×本屋さんの可能性</p> <p><開催概要> 日時：2020年1月11日（土） 13:00-16:00 場所：HUMANS by Next Commons Lab 住所：150-0001 東京都 渋谷区 神宮前6-27-4 東武第二ビル2F 登壇者：ファシリテーター / 川上洋平（book pick orchestra代表、ブックセクター） ゲスト / 古賀 詩穂子（読点magazine、）、高橋早紀（NextCommonsLab三条） 参加費：1,000円（ワンドリンクおやつ付き）</p> <p><タイムライン> 13:00～ 挨拶 13:05～ 三条市について 13:20～ 本屋さんの現状について 13:55～ 休憩 14:00～ みんなでディスカッション まちをつくる本屋さんの姿とは 15:30～ 懇親会</p>
会場	HUMANS 東京都渋谷区 神宮前6丁目-27-4 東武第二ビル2階
予約者数	43名

項目	内容
タイトル	誰かにとっての「当たり前」が、地域みんなの学びになる 市民大学「つくる大学」の七転び八起き
日付	2020年2月8日（土） 14:00 - 16:00
内容紹介	<p>誰かにとっての「当たり前」が、地域みんなの学びになる 市民大学「つくる大学」の七転び八起き</p> <p>こんにちは！2月8日お話をさせていただく、照井菜々と申します。 岩手県遠野市という人口約2万6千人のまちに生まれ育ち、進学を機に一度市外に離れたあとで、今はまた遠野に戻って活動をしています。 実家があるのはまちの一番北にある小さな集落。 子どもの頃通った小・中学校は、私が小学校を卒業すると同時に閉校。その時在籍していたのは、私と私の妹だけでした。小さな集落だったこともあって、同学年の友だちはいなかったけれど、全然寂しくなんかありませんでした。運動会も文化祭も学校の行事には地域のおじちゃんおばちゃん、ちびっこ、み～んな集まって、にぎやかで楽しかったから。学校からの帰り道、気づいたらお散歩していた地域のおじいちゃんと一緒に歩いているなんてことが日常にある。 これが私の原点です。 そんな小さなまちだからか、「自分なんてなんでもない」とか「すごい人ってどこか遠いところの存在だ」って思っている人も多いんです。</p>

	<p>でも本当はそんなことないんです。</p> <p>幼い頃は、あんなに何にもないと思っていたまちには、素晴らしいものがいっぱいある。そういえば子どもの頃にもそれを感じていたはずだと気づきました。</p> <p>私は、ここにいる人みんな、すごい人だと思っています。</p> <p>今取り組んでいる市民大学「つくる大学」では、「あれ、自分のこういうところも実は特別なんだな」とか「こんなおもしろい人こんなに近くにいたんだな。自分もそうなるかな」ということを感じてほしいと思って活動を続けています。</p> <p>この「つくる大学」を通して、自分の生き方や暮らし方を自分で選択し、つくりだすことを後押しするきっかけになればと考えています。</p> <p>今回のイベントでは、地域においてどのように「つくる大学」を企画・運営してきたのか。どんな想いでこの取り組みを進めているのか。地域で学びの場を作る意義や、まだまだ発展途上の「つくる大学」運営の日々についてお話して、みなさんと交流できたらと思っています。ぜひご参加ください！</p> <p>(*オンラインでご参加予定の方は、当日peatixのメールにて、YoutubeliveのURLをお送りします)</p> <p>(*現在「つくる大学」の拠点整備を行うためのクラウドファンディングをGoodMorning (URL: https://camp-fire.jp/projects/view/202959)で実施しています。すでにご支援くださった方は「無料」にてご参加いただくことが可能です。ご支援が確認できるメールをお持ちしご入場ください。)</p> <p><開催概要></p> <p>日時：2020年2月8日(土) 14:00-16:00</p> <p>場所：150-0001 東京都 渋谷区 神宮前6-27-4 東武第二ビル2F HUMANS by Next Commons Lab</p> <p>登壇者：照井 菜々 (NCL遠野)、尾崎 渉 (一般社団法人NextCommonsLab)</p> <p>参加費：1000円 (プロジェクト支援者：無料)</p> <p><タイムライン></p> <p>14:00-14:10 地域の学びを促進する<Next Commons Lab></p> <p>14:10-14:40 「つくる大学」のつくりかた<NCL遠野 照井菜々></p> <p>14:40-14:50 休憩</p> <p>14:50-15:30 フリートーク/質疑応答<照井菜々&尾崎渉></p> <p>15:30-16:00 懇親会</p>
会場	HUMANS 東京都渋谷区 神宮前6丁目-27-4 東武第二ビル2階
予約者数	13名

これらの取り組みを経て、潜在的にNCLに興味を持っている方々から仮エントリーをいただき、ラボメンバーまたはコーディネーターとして選考を行った。選考に際しては、個別で応募者の方からの意向を汲み取りつつ、選考を通じて、より適正であると考えられる関わり方の提案を行った。

NCLの情報発信

・ウェブサイトについて

既存のウェブサイトを踏襲し、適宜募集状況やプロジェクトの状況についてアップデートを行った。採用に向けた話題作り、新たなインパクトを創出するためのキャッチコピーや見せ方、プロジェクトの一覧性と地域毎、テーマ毎の検索性を考慮した。また地域横断的に情報をフィードし、応募の検討がしやすいことを目指した。

【募集専用サイト プロジェクト一覧】

Next Commons Lab

お知らせ 募集中のプロジェクト 説明会 FAQ 地域 Next Commons Lab

エリア別検索

AB 茨城 山梨 群馬 栃木 群馬 群馬 群馬 群馬 群馬

テーマ別検索

AB ものづくり エネルギー 農業 テクノロジー アート ツーリズム コミュニティ デザイン 健康 まちづくり 防災 その他 自由提案

<p>FUN TO FARM Community</p> <p>地域の未来に向けて農業ができること</p>	<p>LOCAL TRADING Distribution</p> <p>地域の資源を盛り起こす株式会社</p>	<p>ARTIST IN GUESTHOUSE Travel, Hospitality</p> <p>アーティストと北毛に学び教づく</p>
<p>CREATIVE TOURISM Tourism</p> <p>滞在が目的になる美しい観光</p>	<p>HORSE SHARING Etc</p> <p>平素観く馬文化のあたららしい町遊性</p>	
<p>GREEN GROCER 2.0 Distribution</p> <p>八夜夜2.0 野菜のスペシャリスト</p>	<p>LOCAL DINING Dining</p> <p>会いに行く料理人アマンの覚悟</p>	<p>CENTER FOR SUSTAINABILITY Etc</p> <p>サステナビリティセンター</p>
<p>AGRI-COORDINATOR Town-Planning</p> <p>新しいつながりをつくる有機的農業コーディネーター</p>	<p>LOCAL ART PROJECT Etc</p> <p>地域アートコミュニティ拠点</p>	<p>AGRI-EDUCATION Education</p> <p>地域の学びが学びになる</p>
<p>CIVIC AGRIC GANTEN Community</p> <p>生産者と食べる人をかたどる共食会</p>	<p>UNIVERSAL BREAD Food</p> <p>やさしいパン</p>	<p>TOURISM FOR SUSTAINABILITY Education</p> <p>未来へ繋ぐ学びのツーリズム</p>
<p>LOCAL TRADING Distribution</p> <p>地域の宝を盛り込む地域株式会社</p>	<p>KONAN ORIGINAL PROJECT Town-Planning</p> <p>自由提案<運用中></p>	<p>SOCIAL BUSINESS OPEN LABORATORY Etc</p> <p>ソーシャルビジネスを形にする開かれたラボ</p>
<p>INFRASTRUCTURE FOR SUSTAINABILITY Town-Planning</p> <p>学生がまちのあたららしいインフラ</p>	<p>TAPIOCA LAB Etc</p> <p>タピオカ研究所</p>	<p>MINAMISANRIKU ORIGINAL PROJECT Town-Planning</p> <p>自由提案<運用中></p>
<p>LOCAL BREWERY Food, Beverage</p> <p>地域産穀物アブリーワリー</p>	<p>APPLE PROJECT Community</p> <p>りんごの未来へのひきかた</p>	<p>ANIMAL WELFARE Etc</p> <p>こにゃん市場所プロジェクト</p>

INBOUND PROMOTION
Community

「産げも農産」を研究する

世界中心地域の魅力を発信する「インバウンド」を促す

自由しも入財を有立するプログラムの教育

COMMUNITY CAFE
Community

空を眺める客をゼロ空間から特設な場所へ

人々のつながりも生む酒と茶を醸成するコミュニティカフェ

EDUCATIONAL DESIGN
Education

高齢解決策の若い子どもを育む地域教育プログラムの

CRAFT TOURISM
Community

産山の暮らしをつなぐ

SPATIAL DESIGN
Community

空を眺める客をゼロ空間から特設な場所へ

SPORTS COMMUNITY BUSINESS
Community

スポーツのある暮らし（集結終了）

COMMUNITY BREWERY
Community

産山の暮らしをつなぐ

LOCAL PRODUCTION
Town-Planning

地域の魅力を伝えるデジタルローカルメディア（集結終了）

MICROWORK
Community

地域をつなぐデジタルビジネスとふるさと納税（集結終了）

SPORTS ACTIVITY
Community

産山の暮らしをつなぐ

SATOYAMA KINDERGARTEN
Education

自然とともなう学び、産山とともなう暮らし（集結終了）

MINAMISOUMA ORIGINAL PROJECT
Town-Planning

自由しも入財を有立するプログラムの教育

SHARE BREWERY
Community

産山の暮らしをつなぐ

LOCAL BOOKSTORE & CAFE
Community

地域の魅力を伝えるデジタルローカルメディア（集結終了）

SURFERS VILLAGE
Community

産山の暮らしをつなぐ

WINE EXPERIENCE
Community

産山の暮らしをつなぐ

SAIJO ORIGINAL PROJECT
Town-Planning

自由しも入財を有立するプログラムの教育

RECYCLING FOR VEGETABLES
Community

産山の暮らしをつなぐ

SUSTAINABLE BRANDING
Town-Planning

産山の暮らしをつなぐ

COMMUNITY WORKSHOP
Education

産山の暮らしをつなぐ

WINE INDUSTRY
Community

産山の暮らしをつなぐ

HIROSAKI ORIGINAL PROJECT
Town-Planning

自由しも入財を有立するプログラムの教育

FOOD DIRECTOR
Community

産山の暮らしをつなぐ

HUB VIETNAM
Community

産山の暮らしをつなぐ

LOCAL ENERGY
Town-Planning

産山の暮らしをつなぐ

SUSTAINABLE FARMING
Agriculture

産山の暮らしをつなぐ

SUSTAINABLE WINERY
Agriculture

産山の暮らしをつなぐ

【コーディネーター募集ページ】

Next Common Lab ABOUT PROJECTS ARCHIVES CONTACT RECRUIT 経路 NETWORK

起業家メンバーも募集中!

自分探しては...追加募集

だれもが選択技を持ち、自由に生きることができる。そんな新しい時代の新しい社会システムを共につくっていく仲間を募集します。

Next Common Labは現在、全国各地の自治体や地元プレーヤーや行政をつなぐためのコミュニケーション窓口、イノベーション・プラットフォームの企画・運営、事務局運営で、現場でさまざまな実践が求められています。ぜひ、自分探しては...追加募集

Recruit 募集人材について

今回募集するコーディネーターは、起業家や地元プレーヤーや行政をつなぐためのコミュニケーション窓口、イノベーション・プラットフォームの企画・運営、事務局運営で、現場でさまざまな実践が求められています。ぜひ、自分探しては...追加募集

チームコーディネーター

アシエイトコーディネーター

1. コーディネーターの役割

1. NCL事務局の運営

2. インキュベーション

3. 独自事業

4. NCLネットワーク

Career キャリアについて

Next Common Labのチームは、組織形態や役割が必要に応じて柔軟に変化させ、その中で常にフラットな関係性を築いています。個人の業務や経験、能力に合わせて、フォームや職種、働き方を自由に選択し、メンバーひとりひとりが望ましい未来をつくるために成長できることを、キャリアパスの軸としています。

今回募集するコーディネーターは、地域においてぜひから、起業のためのプラットフォームを新しいコミュニティの立ち上げ、運営を行います。地域中の既存コミュニティや行政、企業など様々なスタートアップとの関係構築、調整を行い、課題に挑戦していくことが求められます。そうした状況の中で起業家のインキュベーションをする際、自らも経営の事業経験ももたら、新しいビジネスモデルを立ち上げたい、できることを幅広く、多くの可能性を実現するキャリアパスを築きたい方も歓迎です。

その先に個人が設立したり、事業開発を個人化したり、また自治体の地域に拠出してスタートアップや事業開発に挑戦するなど、このコーディネーターとしてのキャリアを生かした道を模索し、切り開いていくこと、Next Common Labチームでは、そうした柔軟なキャリア設計を応援しています。

Location 赴任地域

津市 高松市 西条津市

説明会に参加する

Contact エントリーに関するお問い合わせ

お問い合わせ内容:

送信

© 2018 Next Common Lab. All Rights Reserved.

三年目の統括

立ち上げから三年以上が経過し、拠点数および関わる人の数が大きく増えた。岩手県遠野市を第一号とする「ローカルベンチャー事業（起業家育成プログラム）」に関しては、NCL立ち上げ時から参画してくれた第一期メンバーがプログラムを終え、66%の方が起業家としての活動を継続し、一定の成果が出ている。NCLの原点となる事業であり、初期から参画してくれた起業家やコーディネータの皆さんには改めて感謝申し上げたい。こういった、遠野をはじめとする各地の地道な取り組みがNCLの価値を支えていることは明白で、そこに大手企業からの相談など、様々なコラボレーションの可能性が生まれているのがNCLの強みであり特徴だ。「ポスト資本主義社会の具現化」というミッションを掲げ、「地方創生」という社会ニーズを受け止めながら活動を展開してきた三年間であるが、今後より多くの人や企業を巻き込んでいくために、NCLの存在価値を常にアップデートし、確かなインパクトを残していけるようにしたい。そのためにも、安定したビジネスモデル、資金調達スキームおよび組織体制の開発を引き続き強化していかなければいけないだろうと考える。

今後の展望

昨年度末は、組織課題として「人材確保」を挙げたが、直近はプロフェッショナル人材の参画が進み、事業の推進力は高まってきている。その他人材の獲得に関しても、起業家は「Newspicksとの共同企画によるスクーリングプログラム」、コーディネーターは「コーディネーターの学校」の開発に着手している。各地のプレイヤーの参画や交通インフラ会社とのコラボレーションにより、NCLのネットワークは現在40を超え、今後もその数は広がり続けていくだろう。一方で、ローカルベンチャー事業を中心に据え活動してきた三年間を終え、今後は「社会課題解決における共創プラットフォームづくり」と「ポスト資本主義時代における共有財および共同体の実装」この2点が事業の中核になっていく。まさにNCLの第二創業期であり、チームとしてしっかり脱皮して取り組まなければいけない重いテーマだ。2020年は、オリンピックが延期となり、コロナ問題による混乱の時代として幕開けすることになったが、ますますNCLが考える新しい社会の形を具体的なサービスや仕組みをもって提示していかなければいけない。年々変化のスピードが高まる中、社会環境、地球環境ともに待たなしの状態である。これまで以上にトップギアで走り続けるためにはどうしたらいいのか、知恵を絞りたい。

収支について

2019年度の収支は、2018年と同様に『ローカルベンチャー育成事業』関連での収入が主な部分を占めている。事業との協業が始まっているが事業がまだ仕込みの段階を脱しておらず、収入にはつながっていない。売上高は106,036,718円と1億円を超えてはいるが、大部分が、NCL弘前・NCL加賀・NCL湖南・NCL西条の起業家への報酬・活動費であるため、利益は少ない状態である。また、行政との委託事業は、入金が次年度となっており、キャッシュフローの悪さから資金難に陥った。幸い、短期借入れを行い急場はしのいだが、今後とも同じことが起こることが決定的なので、いかに、キャッシュを確保するかというのがNCLの課題の一つとなっている。現状、各金融機関への融資の相談をすすめており、キャッシュの確保は引き続き続ける。幸い、3年間の活動に価値を見出す企業が増えており、大和ハウス、日本郵政、カルビー、JR東日本、ロート製薬などの企業との協業をすすめている（ただし、企業とNCLの理念が重ならない場合は、委託事業であっても行わないことを理事会で決定した）。2020年度は、①行政へのコンサル事業、②万博関連事業、③企業との協業を事業の3本柱ととらえ進めていく予定である。

※総事業費の詳細は別紙資料をご参考ください

企業との協業について

NCL×企業によるインフラ整備事業

Next Commons Lab × JR
JR東日本

**移動にかかるコストを削減し、
日本全国を人材が移動し創造する仕組み。**

人生は移動距離で決まる。

Way-Way

日本では人生100年時代を迎えようとしている一方で、終身雇用が当たり前ではなくなり、長い人生をどう生きていくのかという問題に対するロールモデルはまだ見つかっていません。NCLは、鉄道会社、エアラインなどの交通インフラを有する企業とパートナーシップを結び、都市とローカルをつなぐ人はもちろん、企業に勤める人も、若者もセミリタイアした人も、だれもが日本中を移動し、旅をするように創造的な活動に取り組む。そんな、地域や自分自身を豊かにする仕組みを創出することで、地域の関係人口を増やし人材の流動性を高めます。

NCL×企業によるインフラ整備事業

Next Commons Lab × 三ツ輪産業株式会社

**契約変更で下がった電気料金の一部を
地域活性に活用する。**

電気を選んでおトクに支援

Social Energy

NCLは、電力供給事業を行う株式会社イーネットワークシステムズと連携し、地域住民や地域法人といった電気需要者が、よりお得に電気を利用できる『NCLでんぎ（仮称）』のサービス開発を進めています。電力契約を既存の電力会社からNCLでんぎに変更した際に下がる電気料金数%分は、地域ファンドとして積み立てられ、NCL拠点などの地域のコーディネーションの促進のために利用されます。

NCL×企業によるインフラ整備事業



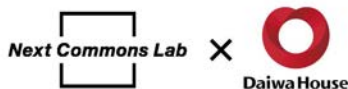
**地域のプロジェクトや課題を
人材育成事業に活用する。**

思いもよらないわたしの未来へ

Career Hack

パーソル総合研究所とNext Commons Labは、「非連続・非日常」である地方をフィールドに、仕事の意味を捉え直す機会を提供します。現在の業務における限定的な場所、人、課題ではなく、現地に行かなければ関わることができない、これまでに話さえたことがない背景をもつ人たちとの対話や、想像もしてこなかった現地のリアルな課題に向き合うことで、企業活動では得られない知見や経験を獲得し、イノベーションを起こすことができる人材の育成を目指します。

NCL×企業によるインフラ整備事業



**空洞化したコミュニティを、
地域コーディネーターが再耕する。**

わたしたち自身の再耕へ

日本再耕プロジェクト

高度経済成長期の日本を、住まいからデザインしてきた大和ハウスが、時代の変化に合わせて既存のモデルから脱却し、新たな「居住」を提案することで、再び日本の「住まい」を創造していく。Next Commons Lab がチャレンジしてきた、地域資源の掘り起こしとコミュニティづくり。その経験や知識を掛け合わせることで、「居住」を地域とともに見直し、大和ハウスのもつ資源(人、もの、知見など)をアップデートし、目指す「再耕」にNCLもジョインします。

NCL×企業によるインフラ整備事業



郵便局をコミュニティの拠点に。
郵便局員が地域の課題を掘り当て、
コーディネータとともに
解決のためのマッチングをしていく。

全国に 20,000 箇所以上ある郵便局は、地域に根ざした頼れる存在として、通信や金融を担ってきました。地域のコミュニティが衰退していく時代に、地域のコミュニティハブとして、郵便局の役割とその価値をアップデートする時です。Next Commons Lab はこれまで、地域資源の掘り起こしやコミュニティづくりにチャレンジしてきました。その経験や知識を掛け合わせることで、郵便局の新たなモデルづくりをお手伝いします。

NCL × 大阪万博 2025



Social Innovation lab

100人の社会起業家、100の企業、
100の地域によって、
100の未来社会モデルを創る。

Social Innovation Labは、社会を変革する人材が集まり、日本が抱える課題の解決策を導き出す。そして、そのソリューションを世界にシェアするためのラボラトリーです。社会課題の解決を目指す企業との積極的な関わりをつくることで、企業が経済活動を通して、よりよい社会づくりに参画できる仕組みを目指します。また、2025年の大阪万博を一旦のゴールには設定しつつも、仕組み自体は2025年以降も持続するために、仕組みづくりもNCLが中心となって進めていきます。

メディア掲載実績

2019.05.05 地方創生からアジアへ 林篤志が広げるクレイジーな構想(Forbes Japan)

ビジネス / 2019/05/05 17:00
地方創生からアジアへ 林篤志が広げるクレイジーな構想

Forbes JAPAN 編集部 FORBES JAPAN
世界38カ国、800万人が愛読する経済誌の日本版



Next Commons Lab ファウンダー/ Commons共同代表の林 篤志

「社会を変えようとするのは諦めた。新しいOSを自分たちでつくる」。テクノロジーを活用したコミュニティづくりで注目を集める「地方創生の旗手」の出发点は、意外にも社会変革への諦観にあった。日本の地方からアジアにまで広がっていくクレイジーな構想に迫る。

のどかな田園風景を残す名古屋近郊の一宮市で生まれ育った少年の楽しみは、水櫃の「観察」だった。砂利を敷き、岩を入れ、水草を生やす。そこに近所の川で釣り上げたナマズ、フナ、コイを入れる。やがて水草も成長し、魚たちはそれぞれ 居心地の良い場所を見つけ、共存していく。「今、思えば」とNext Commons Lab (NCL) ファウンダー/ Commons共同代表の林篤志は口を開く。

「僕がついていたのはコミュニティと同じです。水櫃はひとつの社会で、枠をつくって、その中で魚たちがどう動くかをワクワクしながら見ていた。今と変わらないです。まずは仕組みをつくる。そこに人がやってきて、何か起きる……」。

地方創生の旗手として、まず注目を集めたのが、2016年に岩手県遠野市で始めたプロジェクトだ。総務省の地域おこし協力隊制度なども活用し、遠野に住民票を移すことを条件に、地域資源を活用して起業を目指す人材を募集した。全国各地から83人の応募があり、一挙に14人を採用。NCLメンバーは行政と連携しながら彼らの起業を支援している。

遠野は国内有数のビールの原料であるホップの産地。1970年代後半～80年代のピーク時には200戸以上の農家がホップを栽培していたが、30戸まで減少し、生産量も4分の1まで落ち込んでいた。理由は、地方ならどこでも直面する過疎化であり、農業の担い手不足だ。

遠野には以前から、ホップを利用してビールの里を目指すという動きがある。また民俗学者・柳田國男が著した「遠野物語」の舞台としても知られる民話の里でもあった。「食×酒×観光」のマッチングで事業が成立するのだ。17年11月には、NCLのメンバーが「遠野醸造」を設立し、その半年後に自家製クラフトビールが楽しめるブルワリーバブを開店した。新たなビアツーリズムの可能性を切り開く。

「アップデートされた共同体の形を探る」というNCLのビジョンに惹かれて移住を決めた、というプロジェクトの担い手も生まれた。いずれも遠野に縁がない者ばかりだ。ビジョンに共感したという理由だけで集い、地域のひとたちと連携しながら新しいコミュニティがつけられているのだ。

NCLでは遠野と同様に、地方に残る資源を活用した起業家支援を全国10カ所以上で進めている。いずれも起業家を10～15人ほど選抜し、移住をすることが原則だ。始動が決まった場所には、東日本大震災で大きな被害を受けた宮城県南三陸町、福島県南相馬市といった自治体も含まれる。復興の新たな担い手も彼らが募る起業家志望者から生まれてくる。

台湾南部の高雄を拠点に、Commonsの海外進出も準備中だ。背景として「台湾には自分たちで国をつくっていくんだという若者たちの勢いがある。それに日本の地方創生の事例を学びたいと熱心な人も多い」と林は明かす。現地の若者や政府とも協力し、カーボンオフセットのデジタルマネーの導入などを検討中だ。

将来的な目標は100カ所の拠点、100億円の産業、1,000人の起業家、1万人のコミュニティをつくること。ややくレイジーなものかもしれないが、壮大なスケール感が活動の推進力となっている。



拠点の立ち上げ前の現地視察では地元キーパーソンと会い、課題やリソースを掘り起こす。リサーチを基にコンセプトを設定し、具体的なプロジェクトに進める。(NCL=写真)

きっかけは「土佐山アカデミー」

85年生まれの林は、豊田工業高等専門学校を卒業後、エンジニアとして会社員になったが「共感できる人と働きたい」と2年で退職。09年に東京で「自由大学」を共同設立した後、11年の東日本大震災を機に都内を離れ、高知県を拠点に「土佐山アカデミー」の立ち上げに携わった。地域住民や林が「先生」となったプログラムを企画し、全国から若い受講生が集う。土佐山が気に入った受講生がそのまま移住者になることが狙いだった。

だが、林は気がつく。「確かに子供の数や、住民の数が増えたという成果はあり、可能性を感じました。一方で、地縁や血縁という旧来のコミュニティの価値観を超えて社会全体を変えることはなかなか難しい」

できたことは対症療法にすぎなかったのだ。パソコンで例えれば、既存のOSを部分的にアップデートしただけで、新しいOSをつくることができなかったのだ。

地域おこしに携わる関係者なら知らない人はいない、と言われた土佐山アカデミーの経験は、林にとって一度構築された社会システムは変わらないという諦めと、再出発の契機として記憶された。

「社会は変わらない。だからビジョンに共感できる社会、コミュニティを自分でつくればいい。それが新しいOSになっていく」



事業家でも社会起業家でもない

「僕は事業家でも、社会起業家でもない。事業展開も売り上げも確かに大事だが、僕の活動のすべてではない」と林は語る。では、彼にとって大きな関心を占めているのは何か。林は、NCLを筆頭に自身が関わる活動のすべては「ポスト資本主義社会のための社会実験」だと断言する。

「資本主義は単一の尺度しかない。新しい価値が必要だ」「同じ価値観を持った仲間たちが集い、独自の仮想通貨を発行し、コミュニティをつくる。それは新しい国営国といってもいい」「モデルとして生活協同組合に注

<https://forbesjapan.com/articles/detail/26976>

Fresh Face -アタラシイヒト-BS朝日



HIROSAKI ORANDOオープン (2019年4月20日 陸奥新報)

地域活性化の拠点に

NCL弘前・オランダ開所 産業、起業家育成へ活動

弘前市から地方ベンチャーを育成する「NCL NEXT COMMONS LAB (ネクストコモンズラボ) NCL」弘前への活動拠点となる「弘前オランダ」が白石町に開所し、16日にお披露目会が開かれた。関係者らは今後、同市で展開するプロジェクトに思いを寄せ、地域活性化に期待を寄せた。

（福田篤志）

NCLは地域資源を「行」、活動拠点のある交流を進めるネットワークづくりに取り組む団体。メンバーが知識や経験を生かし、それぞれの地域で起業や活性化策に挑戦しており、現在は同市を含め全国10自治体で活動している。

NCL弘前では、同市が学都であることを生かし「まち全体をキャンパスにする」をテーマに事業を展開。学生や起業家を取り込みながら、地域のキーパーソンと連携して「新しいビジネスやワイヤード」の創出を目指す。

春の下の、ピカピカに。青森市の県立美術館で18日、同館を表す作品の一つ「

土器に触れ縄文体感 大成小で世界遺産講座

弘前 弘前市で、県企業政策課 協賛するとして、縄文世界遺産講座「大成小」が世界遺産登録推進16日、弘前市の大成小学校（金巻町）で開かれた。参加した6年生約40人は、縄文土器に触れ、縄文文化への理解を深めた。

講師は世界遺産登録を推進する「大成小」を自習する北海道・北東北の縄文遺跡群「縄文」の魅力を伝えるべく、麻製の縄文土器を展示し、縄文文化への理解を深めた。

世界遺産や縄文文化の魅力を伝えるべく、大成小の児童が縄文土器に触れ、縄文文化への理解を深めた。

（船越太郎）

ピカピカうれしいワン!

弘前

NCL加賀ラボメンバー関連

【南加賀展】
TAKE FREE
12
Favo
ふれて、みて、買う。

Chirashi Company
加賀市山代町山代1-1-1
TEL: 0761-42-1111

ARABIKI
山中深草・花土特産
¥3,800-8,800

伝統工芸家「阿部 実」による、おもしろい。ARABIKI

東京から加賀市へ移住してきた阿部実「デザイナー」の清水さんが手がける、第一弾のプロジェクトが「ARABIKI」。初めて山中深草を訪れた際に、清水さんが見つけた、古くから伝わる「花土」を、現代の暮らしに活かすべく、花土を使った「ARABIKI」の企画が実現しました。阿部実さんが手がける「ARABIKI」は、花土を使った、おもしろい。ARABIKIの企画が実現しました。

見られたこと、おもしろい、加賀市の魅力を伝えるために、ARABIKIの企画が実現しました。

1月に1日だけの限定ショップの様子
ARABIKIの企画が実現しました。

30

2019年(令和元年)7月6日(土曜日)

石加南

シェアハウスの開設に向け準備を進める生駒さん(左)と加賀市山中深草町上原町

シングルマザー専用 シェアハウス

悩みを共有

空き家を共有

加賀市山中深草町上原町に、シングルマザー専用シェアハウス「シングルマザー専用シェアハウス」が開設される。生駒さんは、シングルマザーの悩みを共有し、空き家を共有する。シングルマザー専用シェアハウス「シングルマザー専用シェアハウス」が開設される。生駒さんは、シングルマザーの悩みを共有し、空き家を共有する。

◆地域おこし協力隊が報告

加賀市山代温泉温泉通の共有オフィス兼カフェ「山代コドン」で11日、地域おこし協力隊の活動報告会が開かれ、隊員、卒業した14人が地域活性化への施策を発表した。

各自がプログラミング授業の支援などの活動を振り返ったほか、女性や子どもの居場所作りに向け共同生活の場を設ける事業など今後の活動構想についても意見を述べた。

2020年(令和2年)1月21日(火曜日)

包装いらず 量り売り市

山代温泉で毎月開催

みなさん幸せ SDGs

協力隊の直地さん企画「ごみ出ない売買 気持ちいい」

加賀市山代温泉で毎月開催される「包装いらず 量り売り市」は、SDGsの観点から、環境に配慮した取り組みとして注目を集めている。協力隊の直地さん企画「ごみ出ない売買 気持ちいい」は、ごみを出さずに商品を売買する仕組みで、環境に配慮した取り組みとして注目を集めている。